

付 属 資 料

目 次

特記仕様書（抜粋）	特1
現場説明付記事項・案内図・配置図・仮設計画図	1
建物断面図	2
空調設備 6階・7階配管図（改修）	3
空調設備 8階配管図（改修）	4
換気設備 6階・7階ダクト図（改修）	5
換気設備 8階ダクト図（改修）	6
換気設備 屋階ダクト図（改修）	7
換気設備 7階・8階ダクト図（移設）	8
換気設備 7階・8階ダクト図（撤去）	9
動力制御設備 6階・7階配線図（改修）	10
動力制御設備 8階配線図（改修）	11
動力制御設備 屋階配線図（改修）	12
給排水衛生設備 ピット階配管図(1)（改修）	13
給排水衛生設備 ピット階配管図(2)（改修）	14
給排水衛生設備 地階・1階配管図（改修）	15
給排水衛生設備 2階・3階配管図（改修）	16
給排水衛生設備 4階・5階配管図（改修）	17
給排水衛生設備 6階・7階配管図（改修）	18
給排水衛生設備 8階配管図（改修）	19

京都大学（南部）中病棟改修機械設備工事

1. 工 事 概 要
1. 工 事 場 所 京都市左京区聖護院川原町54（京都大学病院東構内）
2. 完 成 期 限 令和6年8月30日（金曜日）
3. 建 物 概 要

建物名称	中病棟	
工 種	模様替	
構 造	R8-1 一部S4-1	
階 数	地上 8 階 地下 1 階	
建築基準法による	建築面積（㎡）	4,903.85
	延べ面積（㎡）	31,661.47
消防法施行令別表第一の区分		16項イ
改修面積（㎡）		1,180
備考		

	工事種別	
工事種目	中病棟	
●空調和設備	一式	
●換気設備	一式	
○排煙設備		
●自動制御設備	一式	
○衛生器具設備		
●給水設備	一式	
●排水設備	一式	
○給湯設備		
○消火設備		
○ガス設備		
○雨水利用設備		
●撤去工事	一式	

本工事は、中病棟の6階～8階倉庫を研究実験室とする改修を行うものである。

Ⅱ. 工 事 仕 様

1. 共通仕様
- (1) 国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成16年4月1日財務担当理事裁定制定）別記1の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書によるほか、●のついたものを適用する。

●公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年度版）（以下「標準仕様書」という。）

●公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年度版）（以下「改修標準仕様書」という。）

●公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年度版）（以下「標準図」という。）

●文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（令和4年度版）（以下「文科仕様書」という。）

●文部科学省機械設備工事標準図（特記基準）（平成31年度版）（以下「文科標準図」という。）

●工事写真撮影要領（令和元年7月）
2. 施工条件
- この工事現場では、次の施工条件による。

(1) 本工事建物周囲には、病院・診療棟や研究施設等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。

(2) 建物や敷地周辺に影響すると思われる騒音・振動・粉塵・臭気等作業は、原則土日祝に実施し、事前に監督職員と協議の上で進めること。また施工中の防音対策を十分に講じること。

(3) 工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入時などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。

(4) 騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。

(5) 臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。

(6) 工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。

(7) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。

(8) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、以下の対策を講ずること。

●マスクやフェイスシールドなどを着用すること。

●三つの密（密集、密接、密閉）それぞれを回避すること。

●対人間隔は、1m以上（可能な限り2m以上）確保すること。

●朝礼等の時間短縮や内容の効率化を図ること。

●工事現場入場時に体温測定を行うこと。

●工事現場にアルコール等の消毒液を設置し、出入時等定期的に消毒を行うこと。

●必要に応じて換気装置を設置し、換気を行うこと。

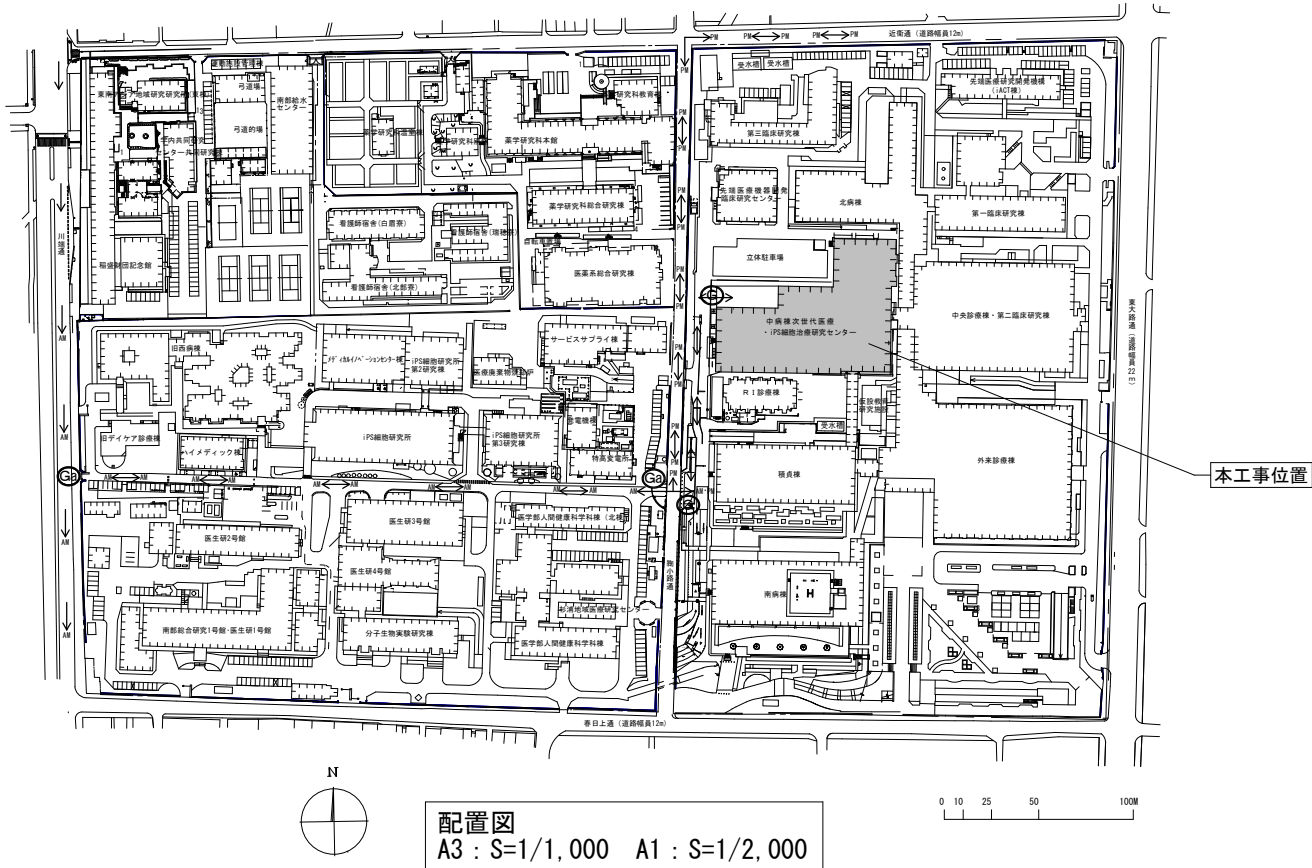
現場説明付記事項

1 工事施工上の注意事項

- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。
工事車両は周辺道路上で違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
- 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。
また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することとし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
- 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
- 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
- 5) 教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
- 6) 埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。
- 7) 工事場内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
- 8) 地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
- 9) 工事用地は、工事完成時には現状に復帰して返還すること。
- 10) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- 11) 作業時間は、午前8時から午後6時を原則とすること。
- 12) 病院構内及び、周辺道路、近隣住宅地付近は一切禁煙とする。

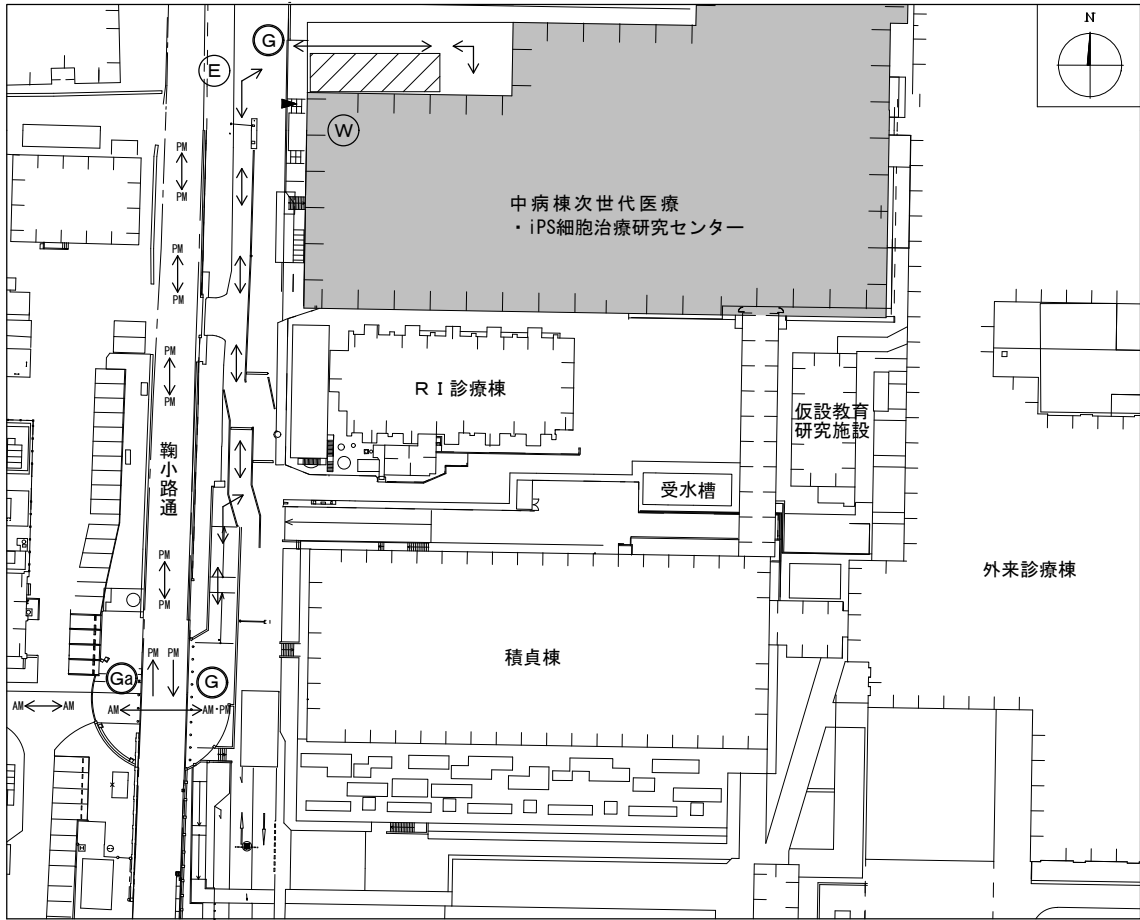
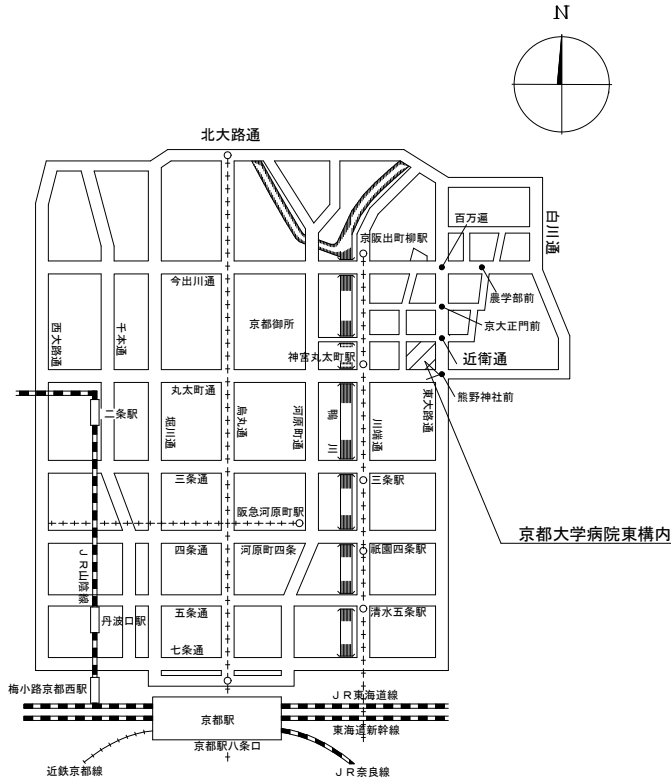
2 工事中の構内安全対策について

- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
- 2) 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
- 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
- 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等には必要に応じ養生を行うこと。
- 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
- 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナ一部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。
- 7) パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなど事故防止に努めること。



配置図
A3 : S=1/1,000 A1 : S=1/2,000

案内図 NO SCALE



仮設計画図
A3 : S=1/300 A1 : S=1/600

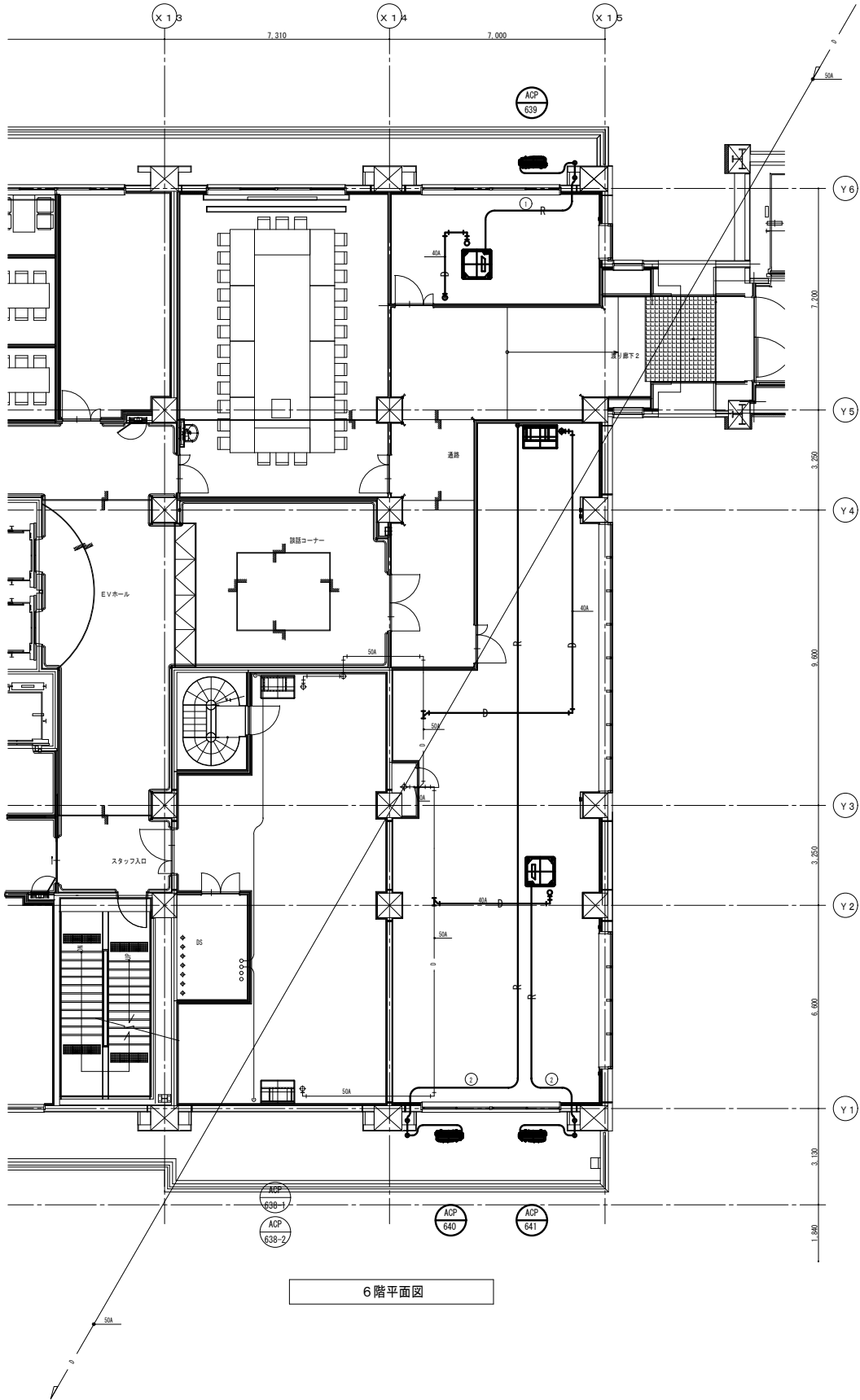
凡例

	本工事建物
	工事用地
	既存建物
	工事車両通行経路
	工事車両通行経路（午前）
	工事車両通行経路（午後）
	交通整理員（常駐2名）
	交通整理員（午前2名）
	工事用電力引込位置
	工事用水道引込位置



機器表										
記号	機器名称	形式	冷媒配管 口径	暖房配管 口径	電源	防振	冷媒配管(D) 管長	リモコン スイッチ	台数	備考
ACP-639	室内機14"27"Vタイプ275D (室外機)	冷暖切替型	5.0	5.6	1φ-200V 1.5kW		15	-3.0	1	
ACP-639	室内機14"27"Vタイプ275D (室内機)	4方向カセット型				防振ゴム金具			1	
ACP-640	室内機14"27"Vタイプ275D (室外機)	冷暖切替型	7.1	8.0	1φ-200V 2.5kW		40	-3.0	1	ドレンアップメカ
ACP-640	室内機14"27"Vタイプ275D (室内機)	天吊型				防振ゴム金具			1	
ACP-641	室内機14"27"Vタイプ275D (室外機)	冷暖切替型	7.1	8.0	1φ-200V 2.5kW		20	-3.0	1	ドレンアップメカ
ACP-641	室内機14"27"Vタイプ275D (室内機)	4方向カセット型				防振ゴム金具			1	

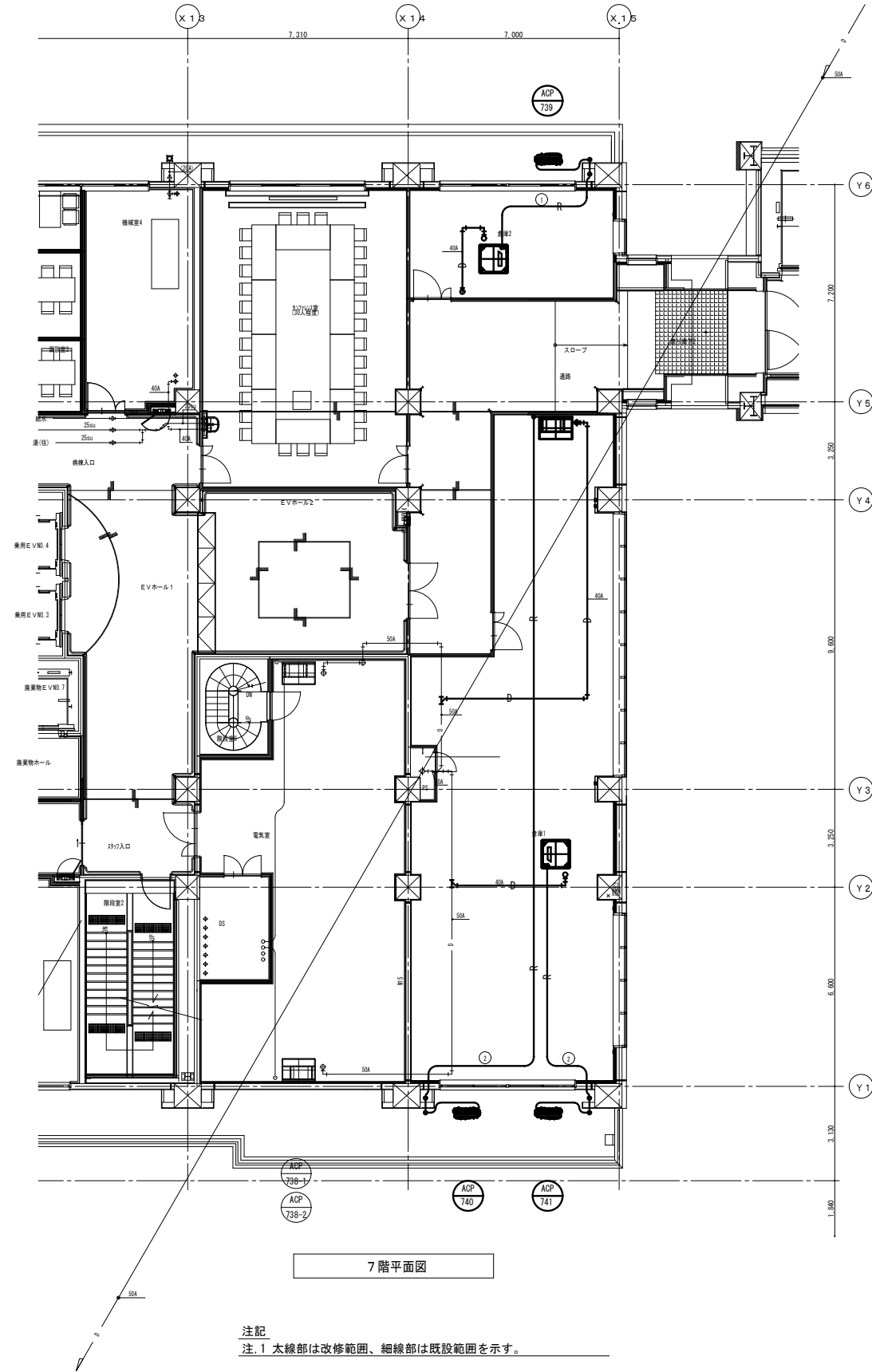
機器電気容量は参考とする。(注R2)
室内外温度条件は (外気) : 夏期36.9℃(乾), 相対湿度41.6% 冬期0.4℃(乾), 相対湿度65.9%
(室内) : 夏期26.9℃(乾), 相対湿度65.9% 冬期22.0℃(乾), 相対湿度65.9%とする。
室内・室外機間の配管配線は冷暖配管内巻とする。



6階平面図

機器表										
記号	機器名称	形式	冷媒配管 口径	暖房配管 口径	電源	防振	冷媒配管(D) 管長	リモコン スイッチ	台数	備考
ACP-739	室内機14"27"Vタイプ275D (室外機)	冷暖切替型	5.0	5.6	1φ-200V 1.5kW		15	-3.0	1	
ACP-739	室内機14"27"Vタイプ275D (室内機)	4方向カセット型				防振ゴム金具			1	
ACP-740	室内機14"27"Vタイプ275D (室外機)	冷暖切替型	7.1	8.0	1φ-200V 2.5kW		40	-3.0	1	ドレンアップメカ
ACP-740	室内機14"27"Vタイプ275D (室内機)	天吊型				防振ゴム金具			1	
ACP-741	室内機14"27"Vタイプ275D (室外機)	冷暖切替型	7.1	8.0	1φ-200V 2.5kW		20	-3.0	1	ドレンアップメカ
ACP-741	室内機14"27"Vタイプ275D (室内機)	4方向カセット型				防振ゴム金具			1	

機器電気容量は参考とする。(注R2)
室内外温度条件は (外気) : 夏期36.9℃(乾), 相対湿度41.6% 冬期0.4℃(乾), 相対湿度65.9%
(室内) : 夏期26.9℃(乾), 相対湿度65.9% 冬期22.0℃(乾), 相対湿度65.9%とする。
室内・室外機間の配管配線は冷暖配管内巻とする。



7階平面図

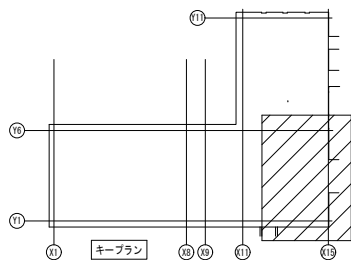
注記
注.1 太線部は改修範囲、細線部は既設範囲を示す。

凡例		
記号	名称	備考
— R —	冷媒配管	冷媒用断熱被覆銅管
— D —	上水	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP)
—	ケーブル配線	電源線 : EM-CE-3.5□-3C 制御線 : EM-CEES-1.25□-2C

細線は既設、太線は改修を示す

冷媒管リスト					
記号	源	ガス管	記号	源	ガス管
①	6.4	12.7	①	6.4	12.7
②	9.5	15.9	②	9.5	12.7
③	9.5	19.1	③	9.5	15.9
④	9.5	22.2	④	9.5	19.1
⑤	12.7	25.4	⑤	12.7	19.1
⑥	12.7	28.6	⑥	12.7	22.2
⑦	15.9	28.6	⑦	15.9	22.2
⑧	19.1	31.8	⑧	12.7	22.2
⑨	9.5	25.4	⑨	15.9	22.2
			⑩	19.1	22.2
			⑪	19.1	25.4

室内外渡配線 (冷媒管内巻)
ACP 制御線 : EM-CEES-1.25□-2C
及び、電源線 : EM-CE-3.5□-3C



キープラン

工事名 京都大学 (南部) 中病棟改修機械設備工事			図面番号 3
図面名称 空調設備 6階・7階配管図 (改修)	縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	設計日 令和6年4月	

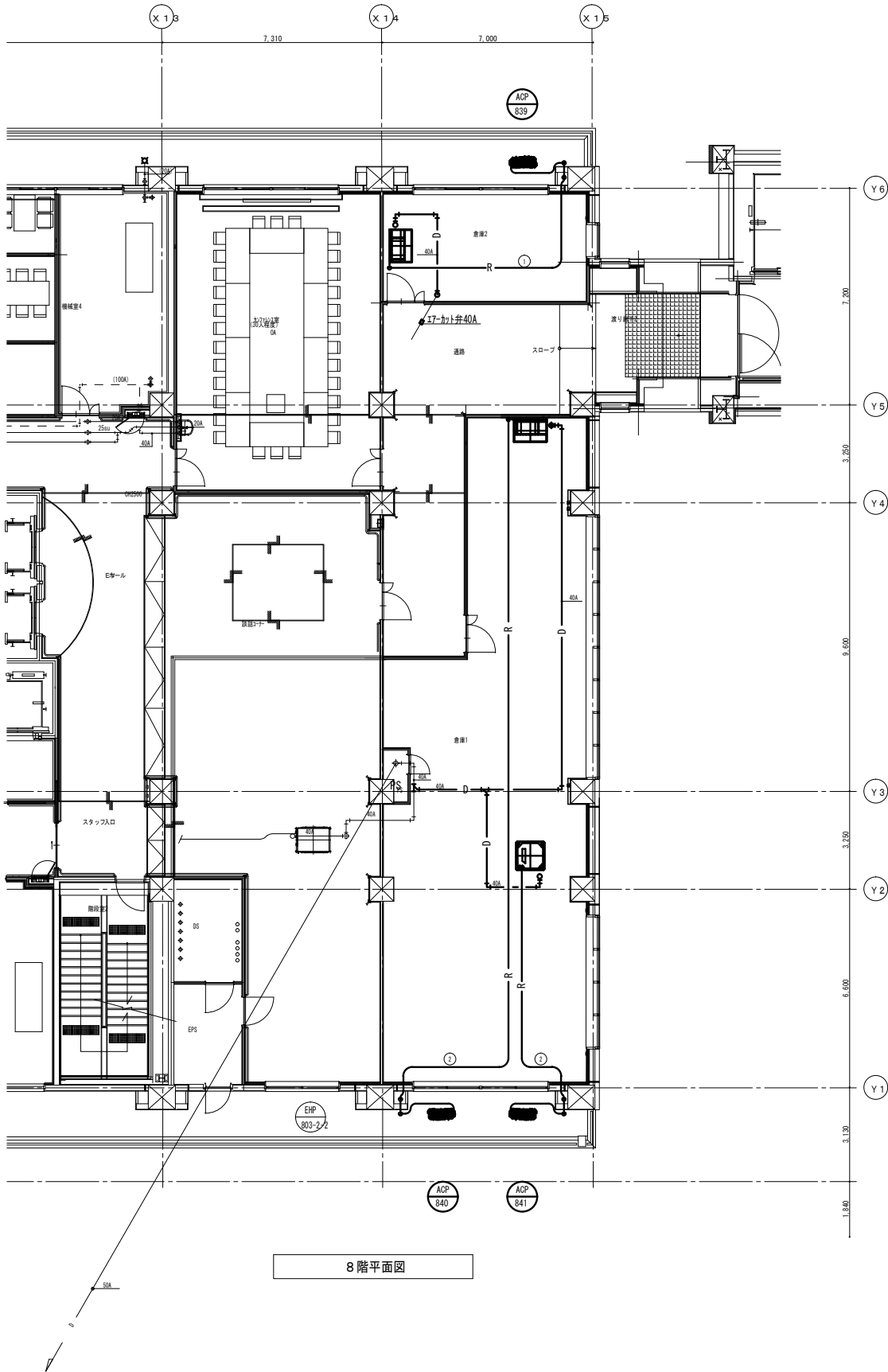


機器表									
記号	機器名称	形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電源	防振	冷暖配管(D) 配管径 配管深	リモコン スイッチ	備考
ASP-839	室外機1472Vタイプ2700 (室外機)	冷暖切替型	5.0	5.6	1φ-200V 1.5kW	防振ゴムパッド	15 -3.0	1	1
ASP-839	室内機1472Vタイプ2700 (室内機)	天吊型				防振ゴムパッド		1	1
ASP-840	室外機1472Vタイプ2700 (室外機)	冷暖切替型	7.1	8.0	1φ-200V 2.5kW	防振ゴムパッド	40 -3.0	1	ドレンアップメカ
ASP-840	室内機1472Vタイプ2700 (室内機)	天吊型				防振ゴムパッド		1	1
ASP-841	室外機1472Vタイプ2700 (室外機)	冷暖切替型	7.1	8.0	1φ-200V 2.5kW	防振ゴムパッド	30 -3.0	1	ドレンアップメカ
ASP-841	室内機1472Vタイプ2700 (室内機)	4方向カセット型				防振ゴムパッド		1	1

機器電気容量は定格とする。(100%)
室内外気条件は(外気)：夏期26.0℃乾、相対湿度43.0% 冬期0.4℃乾、相対湿度65.0%
(室内)：夏期26.0℃乾、相対湿度43.0% 冬期22.0℃乾、相対湿度43.0%とする。
室内・室外機間の配管配線は冷暖配管共巻とする。

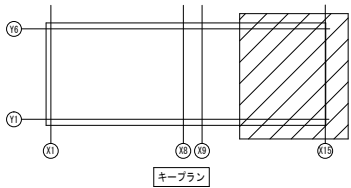
凡例		
記号	名称	備考
— R —	冷暖配管	冷暖用断熱被覆銅管
— D —	ドレン管	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP)
—	ケーブル配線	電源線：EM-CE 2□-3C 制御線：EM-CEES 1.25□-2C
		冷暖管共巻き

細線は既設、太線は改修を示す



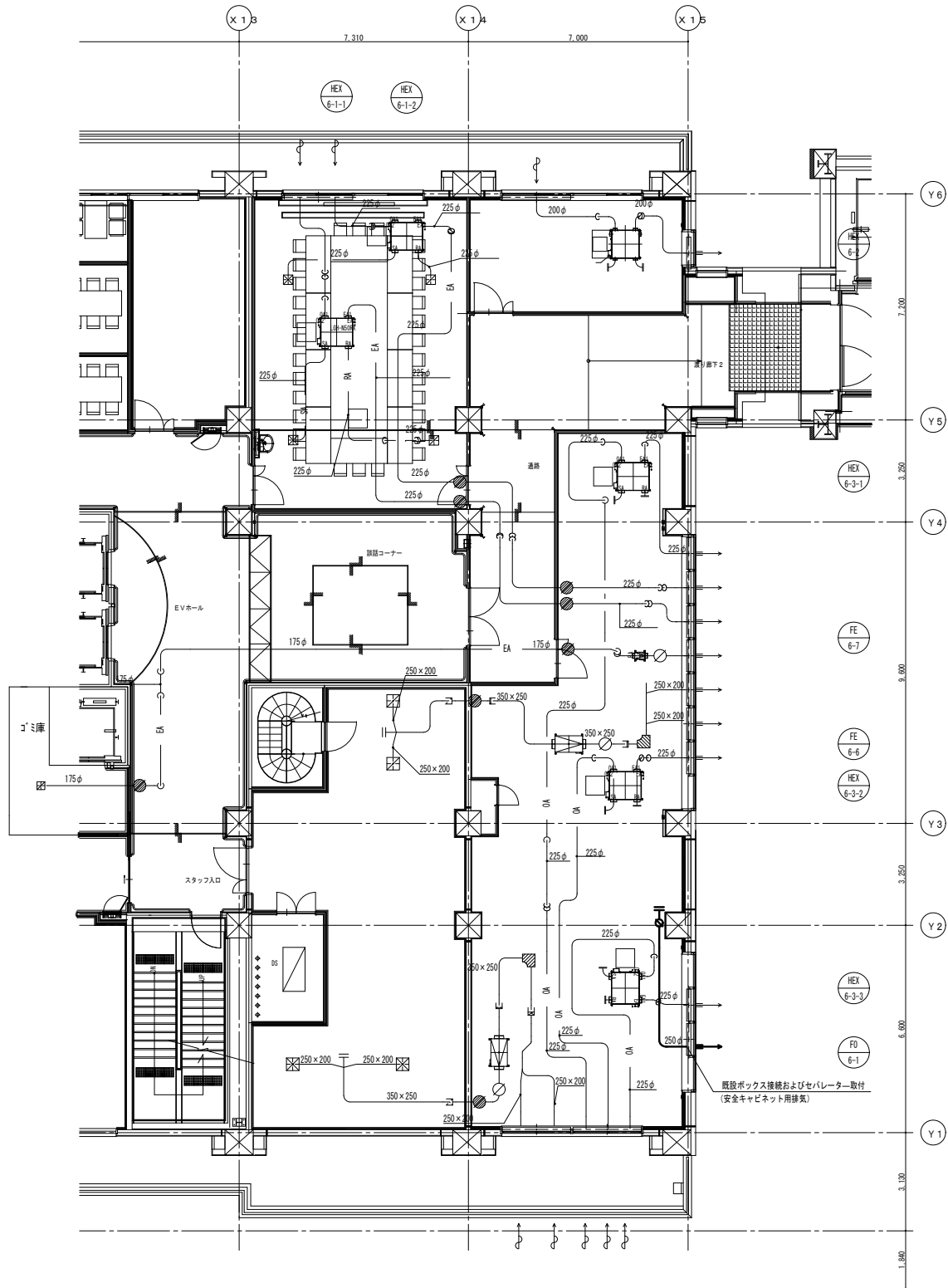
冷暖管リスト					
記号	管 径	ガ ス 管	記号	管 径	ガ ス 管
①	6.4	12.7	④	6.4	12.7
②	8.5	15.9	⑤	8.5	12.7
③	8.5	19.1	⑥	8.5	15.9
⑦	8.5	22.2	⑧	8.5	19.1
⑨	12.7	25.4	⑩	12.7	19.1
⑪	12.7	28.6	⑫	12.7	22.2
⑬	15.9	28.6	⑭	15.9	22.2
⑮	19.1	31.8	⑯	12.7	22.2
⑰	8.5	25.4	⑱	15.9	22.2
			⑲	19.1	22.2
			⑳	19.1	25.4

室内外接続配線 (冷暖管共巻)
ASP: 制御線: EM-CEES-1.25□-2C
及び、電源線: EM-CE-3.5□-3C



注記
注.1 太線部は改修範囲、細線部は既設範囲を示す。

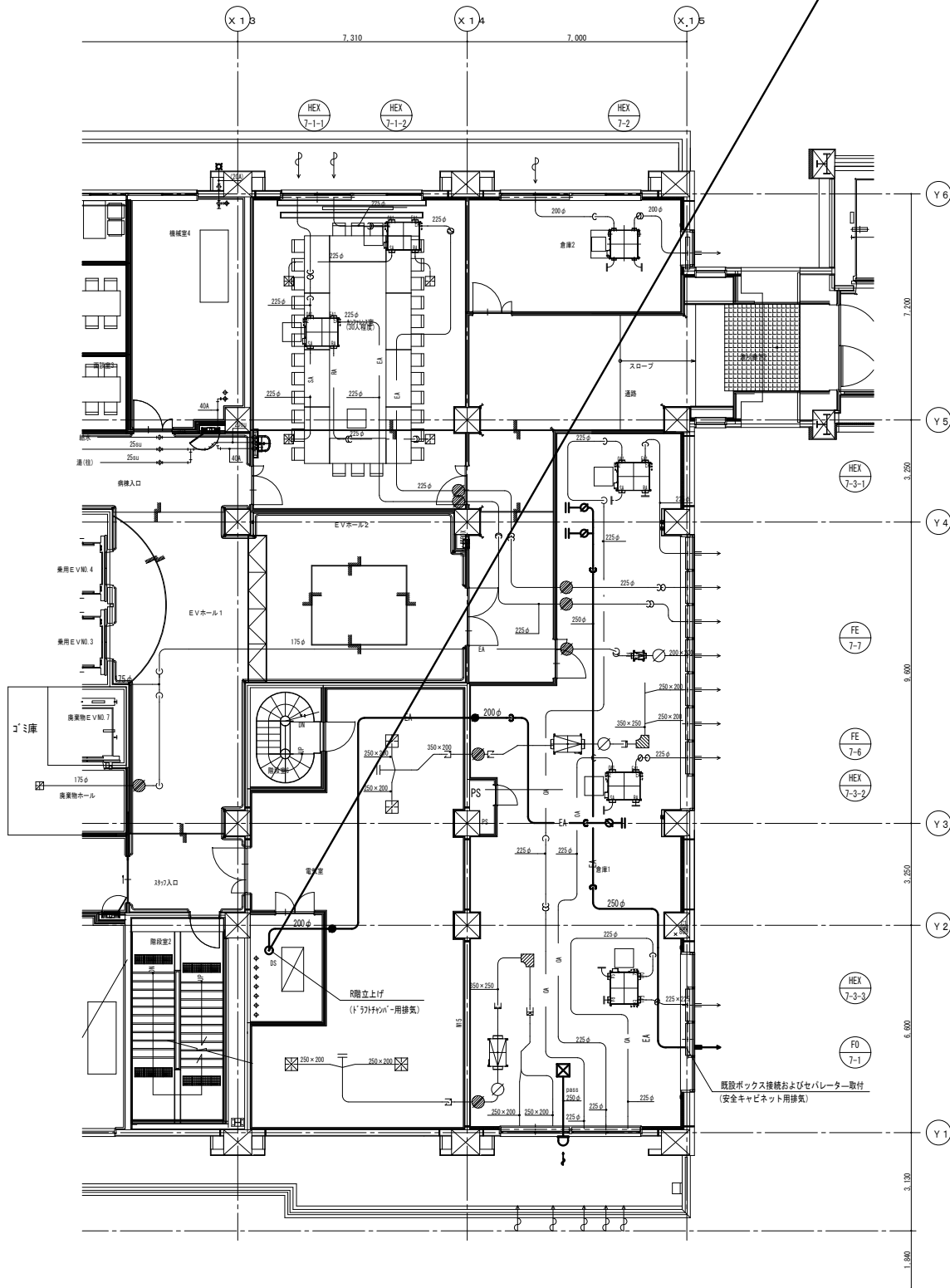
工事名 京都大学 (南部) 中病棟改修機械設備工事			図面番号	
図面名称 空調設備 8階配管図 (改修)		縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A2)	設計日 令和6年4月	4



6階平面図

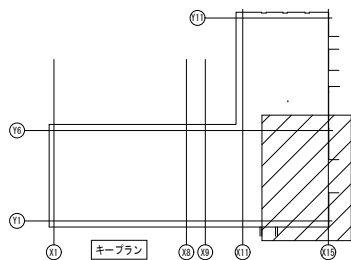
凡例		
記号	名称	備考
EA	排気ダクト	亜鉛鉄板製
○	風量調整ダンパVD	
●	防火ダンパFD	
D	ベントキャップ	

ドラフトチャンバー用ダクトは機器用配線 (EM-CEE2.0sq-2C) を屋上排気ファンまで共に敷設すること
細線は既設、太線は改修を示す



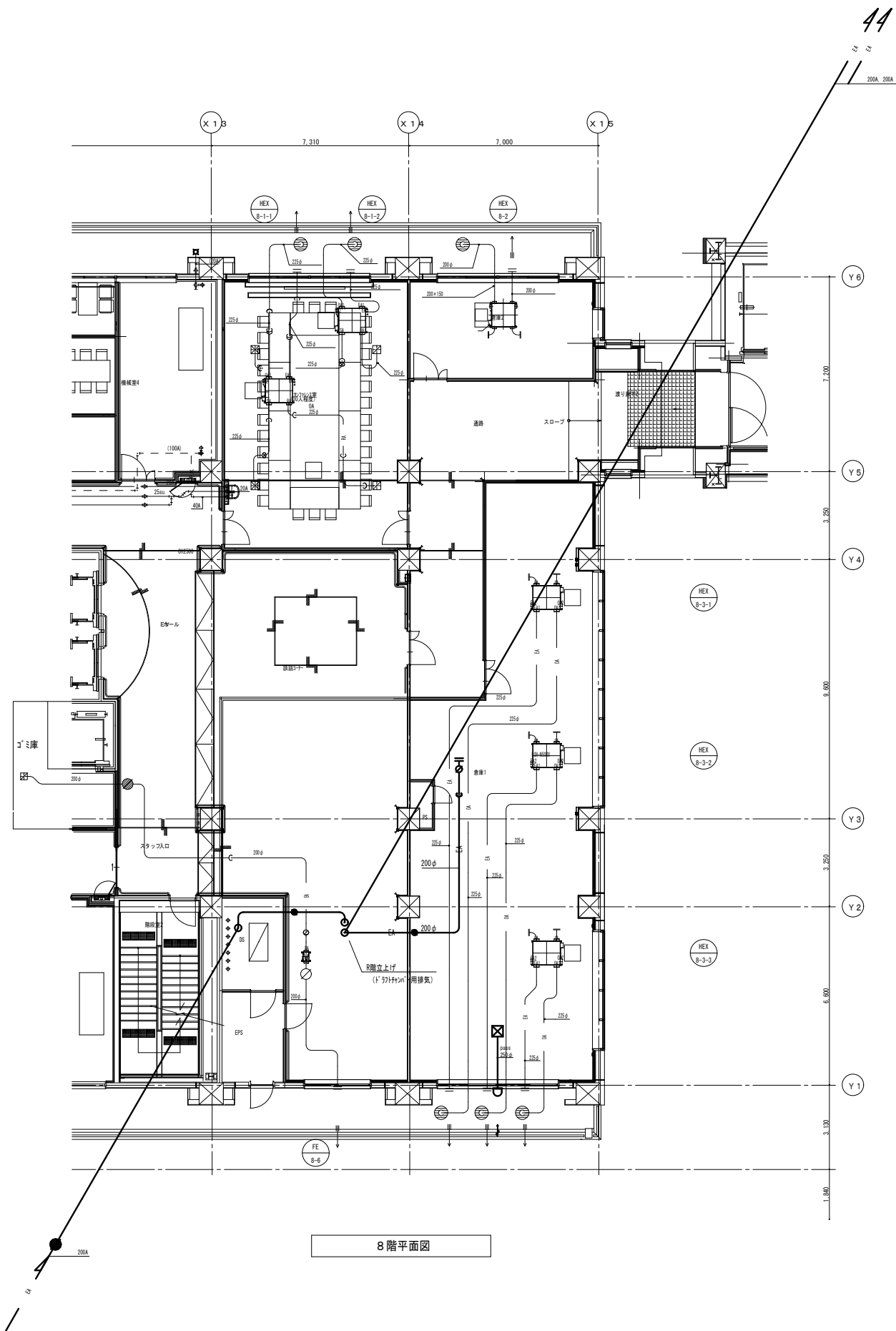
7階平面図

倉庫1	
OA	900 m3/h
VHS (F付)400 x 400	1
ガラリ	



注記
注.1 太線部は改修範囲、細線部は既設範囲を示す。

工事名 京都大学 (南部) 中病棟改修機械設備工事		図面番号	
図面名称 換気設備 6階・7階ダクト図 (改修)	縮尺	設計日	
	1:100 (A1) 1:200 (A3)	令和6年4月	

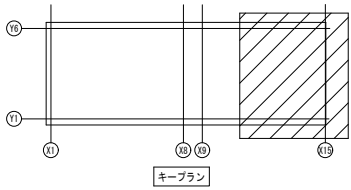


8階平面図

凡例		
記号	名称	備考
EA	排気ダクト	亜鉛鉄板製
∅	風量調整ダンパVD	
●	防火ダンパFD	
D	ベントキャップ	

ドラフトチャンバー用ダクトは機器用配線（EM-CEE2.0sq-2C）を屋上排気ファンまで共に敷設すること
細線は既設、太線は改修を示す

倉庫I	
OA	900 m3/h
VHS (F付)400 x 400	1
ガラリ	



注記
注.1 太線部は改修範囲、細線部は既設範囲を示す。

工事名 京都大学（南部）中病棟改修機械設備工事			図面番号	
図面名称	縮尺	設計日	6	
換気設備 8階ダクト図（改修）	1:100 (A1) 1:200 (A3)	令和6年4月		

機器表

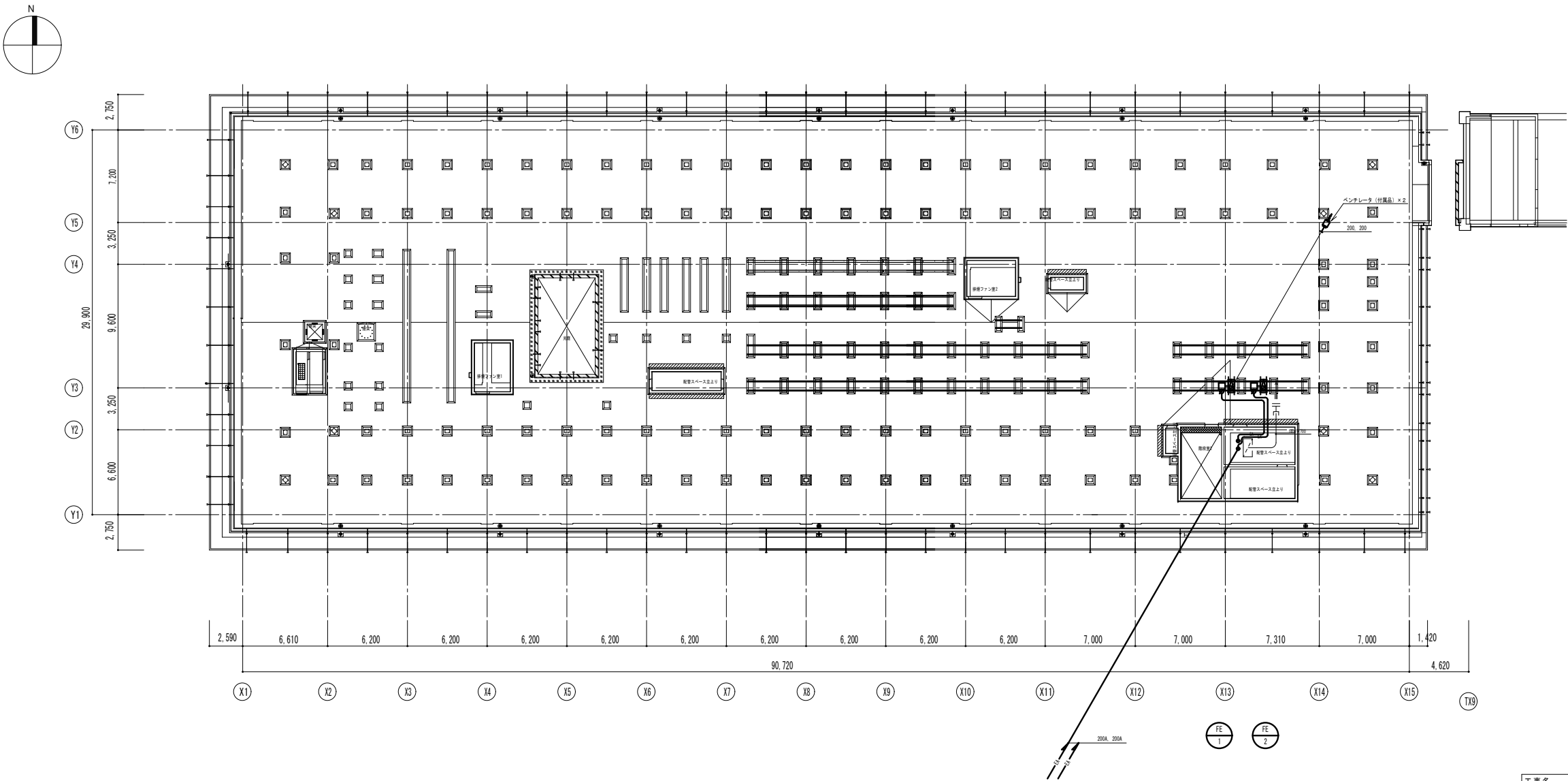
記号	機器名称	形式	仕様			電源容量			起動方式	台数	備考
			型番	風量 [m3/h]	静圧 [Pa]	φ	V	kW			
FE-1	排風機（7階ド raftチャンバ -系統）	樹脂製片吸込シロッコファン 床置型 屋外仕様 付属品 スプリング防振架台、PVC製たわみ接手、FRP製ダンパー（200φ）、ベンチレータ（200φ）	#1	900	250	3	200	0.40	直入	1	ド raftチャンバ -用配線共（EM-CEE2.0sq-20 50m）
FE-2	排風機（8階ド raftチャンバ -系統）	樹脂製片吸込シロッコファン 床置型 屋外仕様 付属品 スプリング防振架台、PVC製たわみ接手、FRP製ダンパー（200φ）、ベンチレータ（200φ）	#1	900	250	3	200	0.40	直入	1	ド raftチャンバ -用配線共（EM-CEE2.0sq-20 40m）

機器電気容量は参考とする。（60Hz）

凡例

記号	名称	備考
EA	排気ダクト	亜鉛鉄板製
Ø	風量調整ダンパVD	

ドラフトチャンバー用ダクトは機器用配線（EM-CEE2.0sq-20）を屋上排気ファンまで共に敷設すること
細線は既設、太線は改修を示す



工事名 京都大学（南部）中病棟改修機械設備工事			図面番号 7
図面名称	縮尺	設計日	
換気設備 屋階ダクト図（改修）	1 : 200 (A1) 1 : 400 (A3)	令和 6 年 4 月	

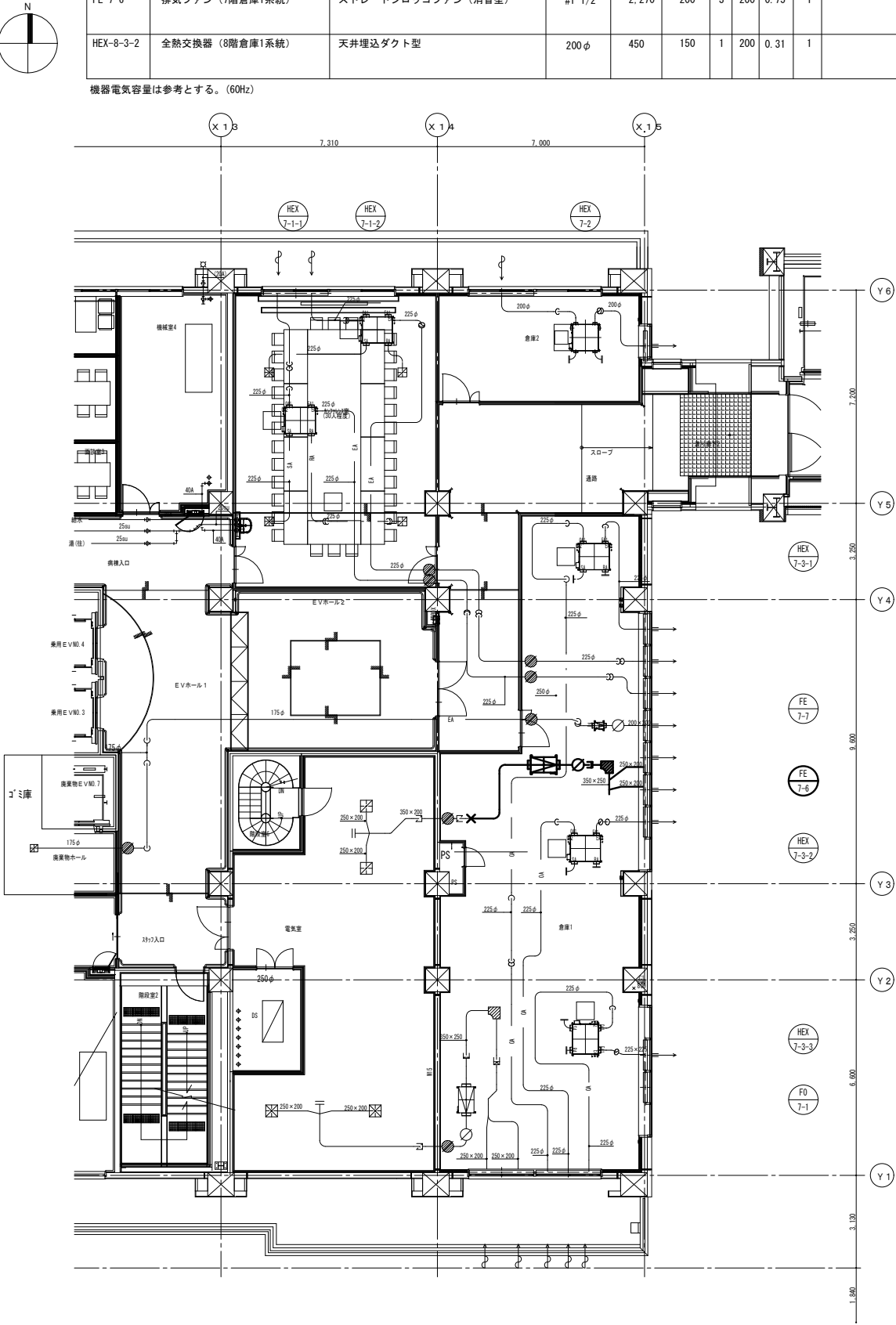
移設機器表

記号	機器名称	形式	仕様			電源容量			台数	備考
			接続φ外径	風量 [m3/h]	静圧 [Pa]	φ	V	kW		
FE-7-6	排気ファン (7階倉庫1系統)	ストレートシロッコファン (消音型)	#1 1/2	2,270	200	3	200	0.75	1	
HEX-8-3-2	全熱交換器 (8階倉庫1系統)	天井埋込ダクト型	200φ	450	150	1	200	0.31	1	

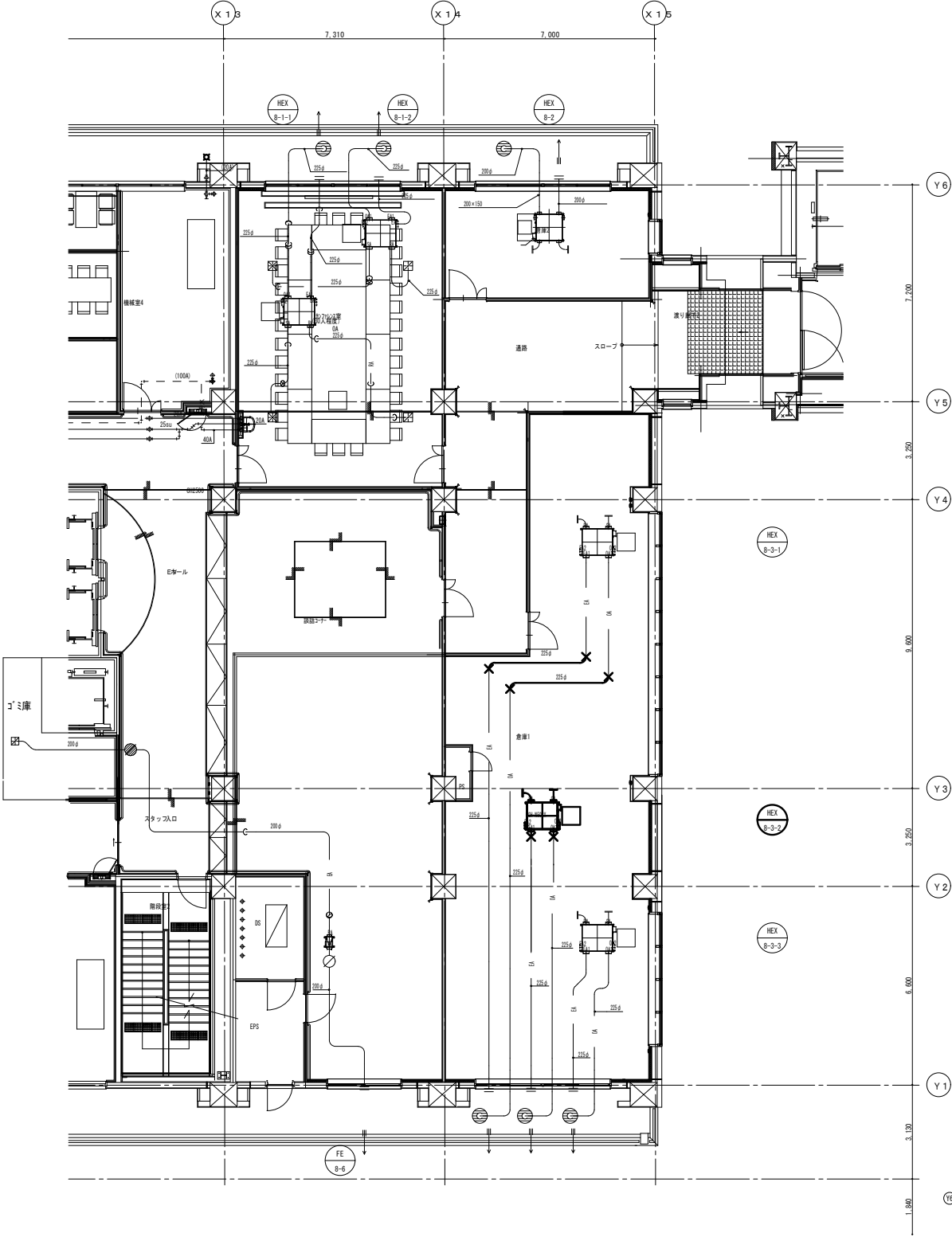
機器電気容量は参考とする。(60Hz)

凡例

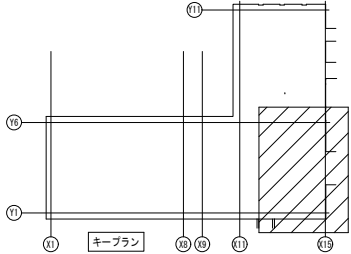
記号	名称	備考
EA	排気ダクト	亜鉛鉄板製
φ	風量調整ダンパVD	
●	防火ダンパFD	
D	ペントキャップ	
X	既設接続箇所	既設ダクト：亜鉛鉄板製



7階平面図



8階平面図



注記
注.1 太線部は改修範囲、細線部は既設範囲を示す。
注.2 機器は既設再使用とする。

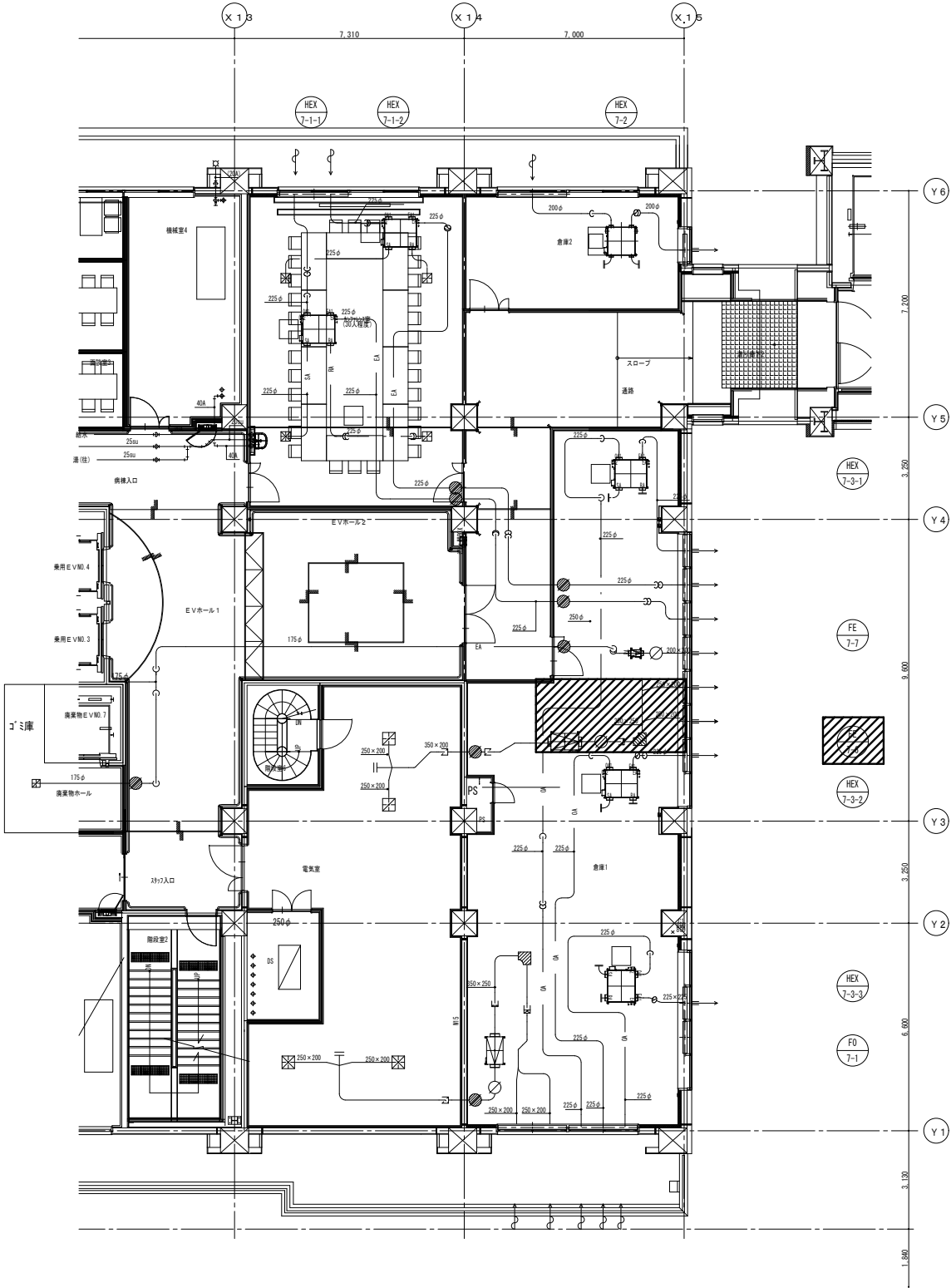
撤去機器表

記号	機器名称	形式	仕様			電源容量			台数	備考
			接続φ外径	風量 [m3/h]	静圧 [Pa]	φ	V	kW		
FE-7-6	排気ファン (7階倉庫1系統)	ストレートシロッコファン (消音型)	#1 1/2	2,270	200	3	200	0.75	1	
HEX-8-3-2	全熱交換器 (8階倉庫1系統)	天井埋込ダクト型	200φ	450	150	1	200	0.31	1	

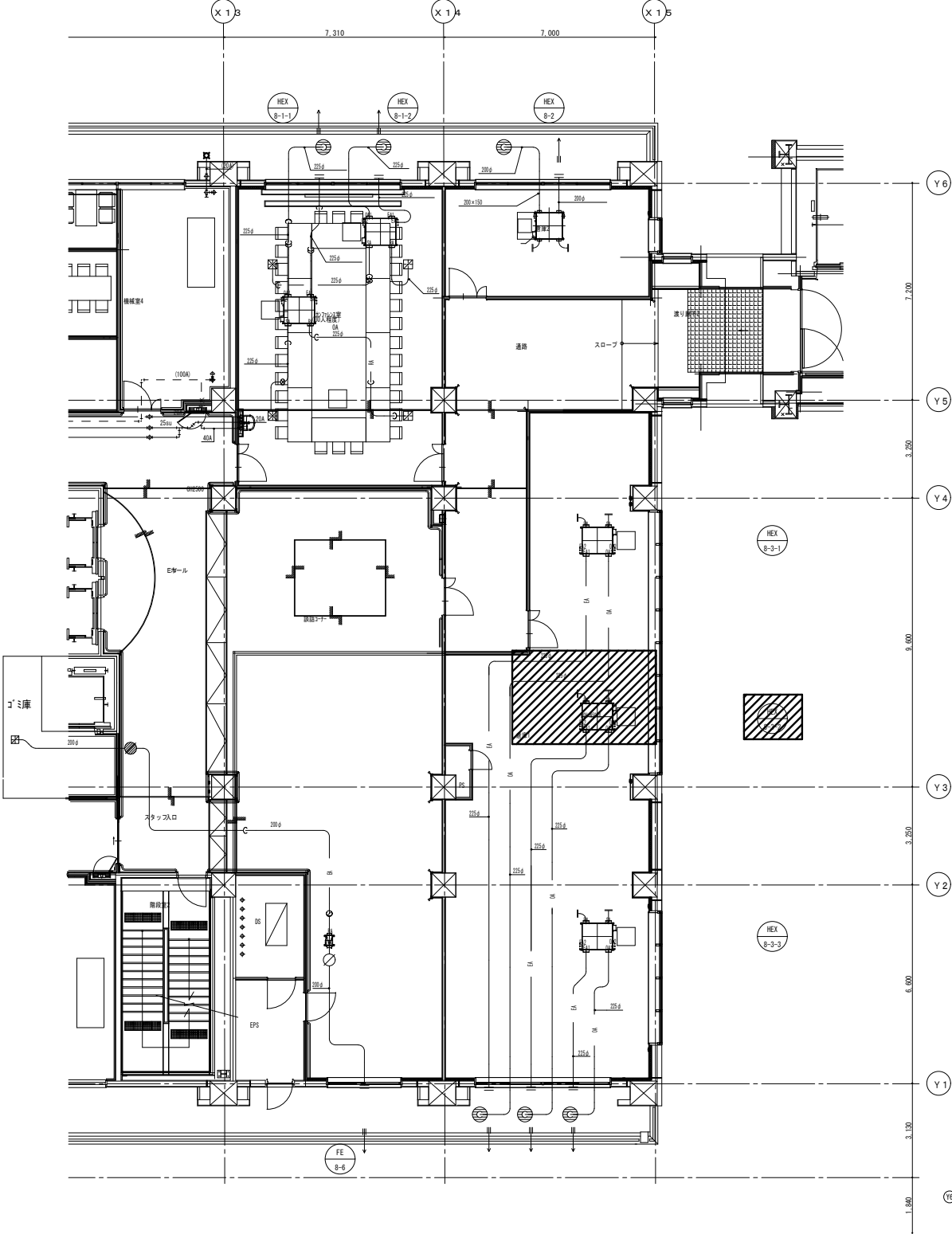
機器電気容量は参考とする。(60Hz)

凡例

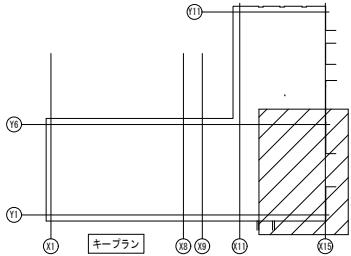
記号	名称	備考
EA	排気ダクト	亜鉛鉄板製
φ	風量調整ダンパVD	
●	防火ダンパFD	
D	ペントキャップ	




7階平面図



8階平面図



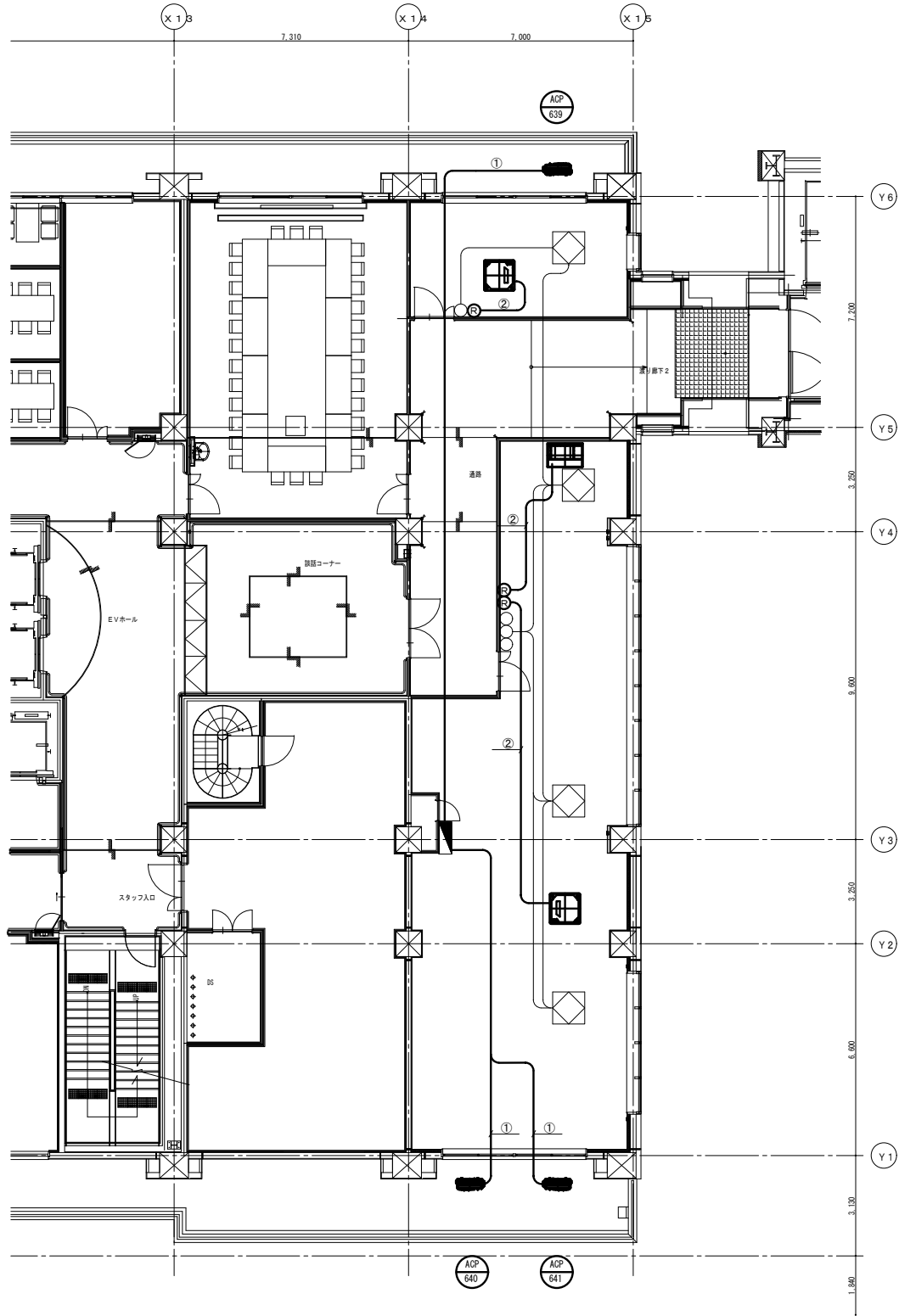
- 注記
注.1 太線部は改修範囲、細線部は既設範囲を示す。
注.2 図中  は、撤去範囲を示す。
注.3 撤去機器は移設し再使用とする。

工事名	京都大学 (南部) 中病棟改修機械設備工事		図面番号
図面名称	換気設備 7階・8階ダクト図 (撤去)	縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	設計日 令和6年4月
		9	

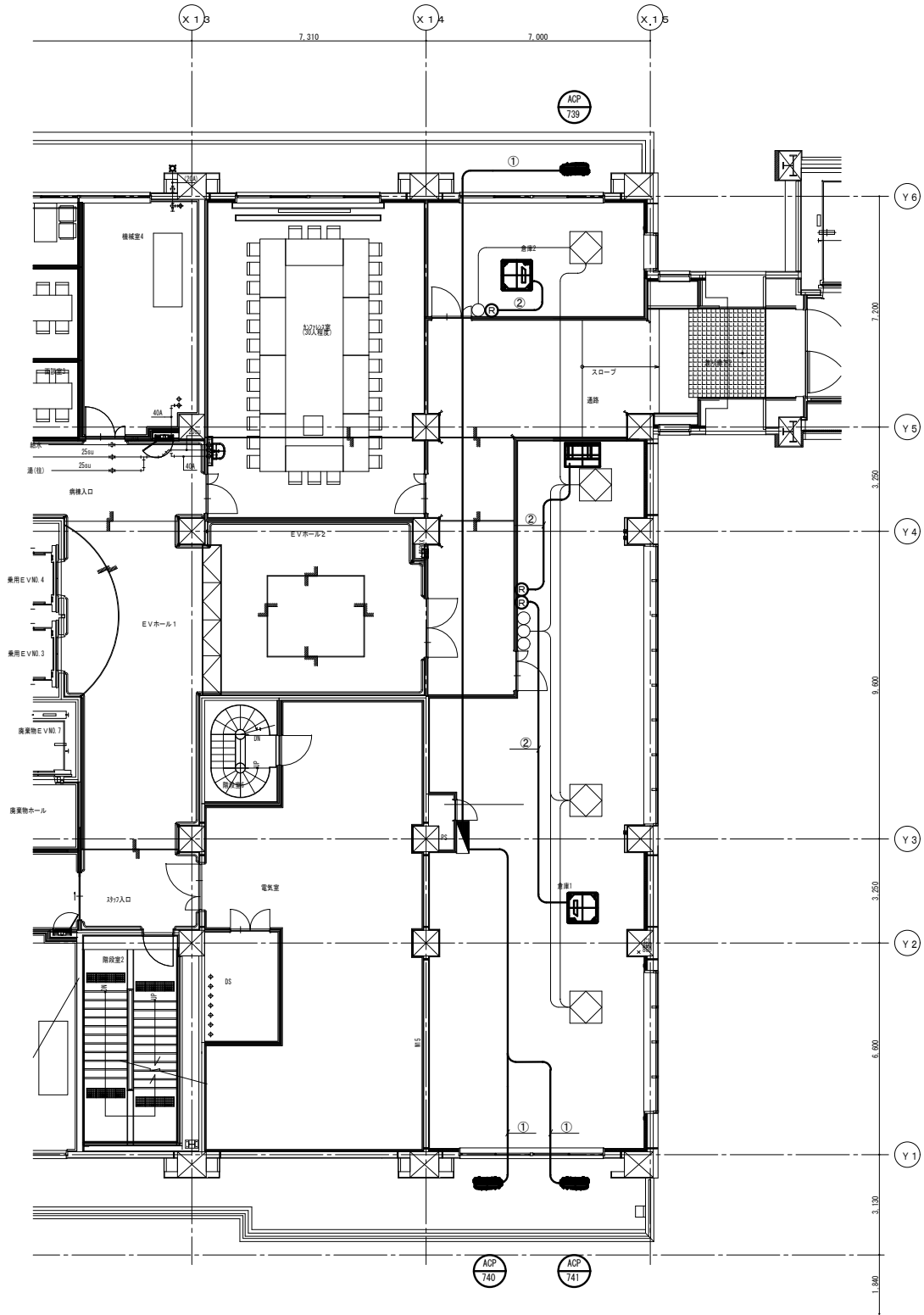


凡例		
記号	名称	備考
— R —	冷媒配管	冷媒用断熱被覆配管
— D —	上水	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP)
—	ケーブル配線	①電源線：EM-CE-3. 5□-3C ②制御線：EM-CEES-1. 25□-2C
(R)	スイッチ	
■	分電盤	

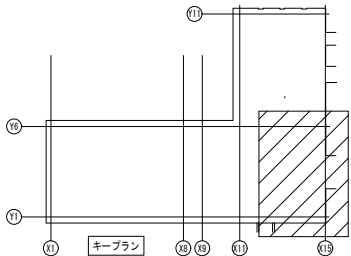
細線は既設、太線は改修を示す



6階平面図



7階平面図



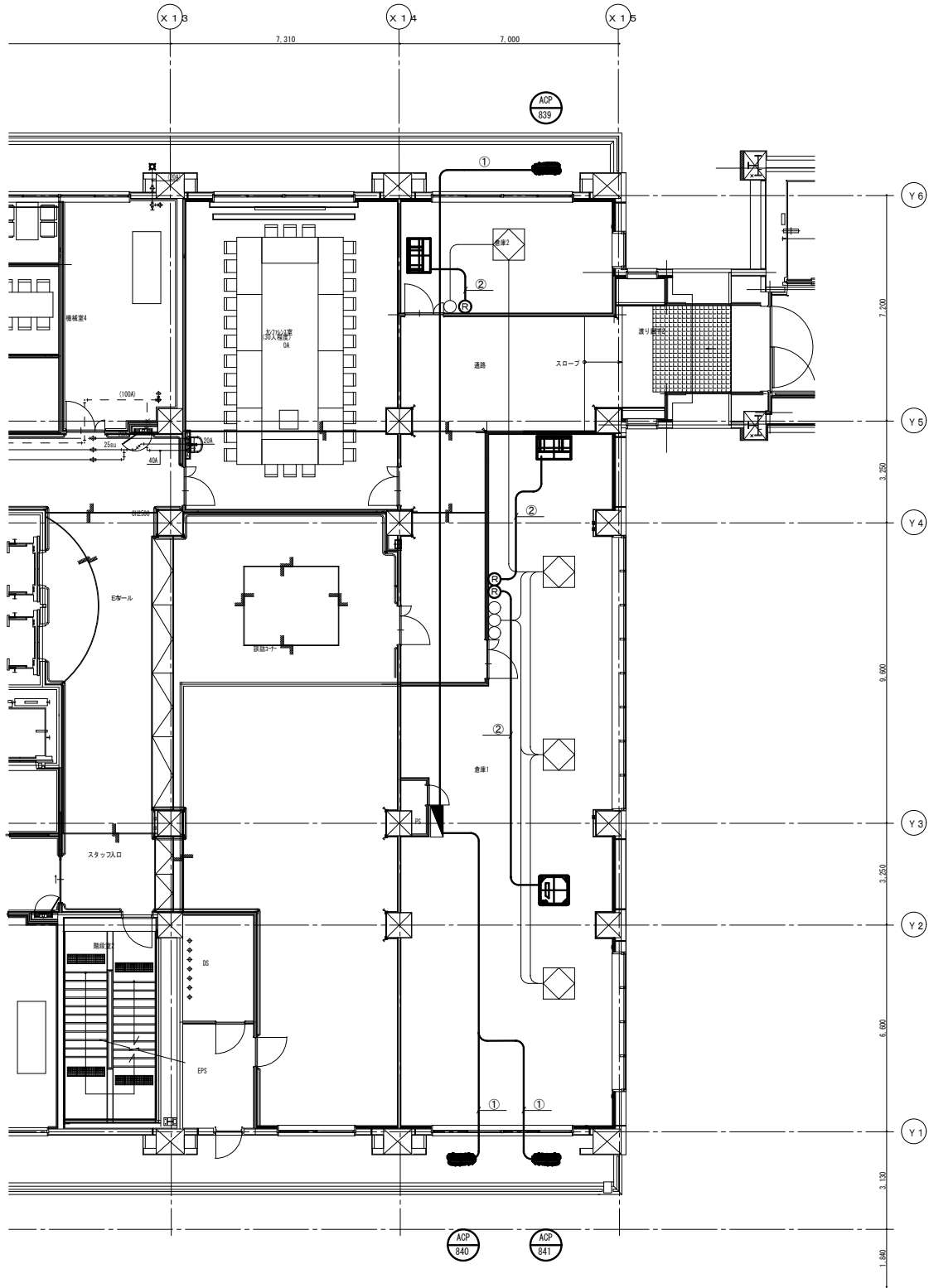
注記
注. 1 太線部は改修範囲、細線部は既設範囲を示す。

工事名	京都大学 (南部) 中病棟改修機械設備工事		図面番号
図面名称	動力制御設備 6 階・7 階配線図 (改修)	縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	設計日 令和 6 年 4 月

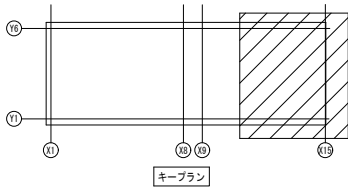


凡例		
記号	名称	備考
— R —	冷媒配管	冷媒用断熱被覆銅管
— D —	上水	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP)
———	ケーブル配線	①電源線：EM-CE-3.5□-3C ②制御線：EM-CEES-1.25□-2C
(R)	スイッチ	
■	分電盤	

細線は既設、太線は改修を示す



8階平面図



注記

注.1 太線部は改修範囲、細線部は既設範囲を示す。

工事名 京都大学（南部）中病棟改修機械設備工事			図面番号 11
図面名称 動力制御設備8階配線図（改修）	縮尺 1：100 (A1) 1：200 (A3)	設計日 令和6年4月	

Table with 3 columns: 記号 (Symbol), 名称 (Name), 備考 (Remarks). It defines symbols for cable wiring, main switch, and existing power control panel.

細線は既設、太線は改修を示す

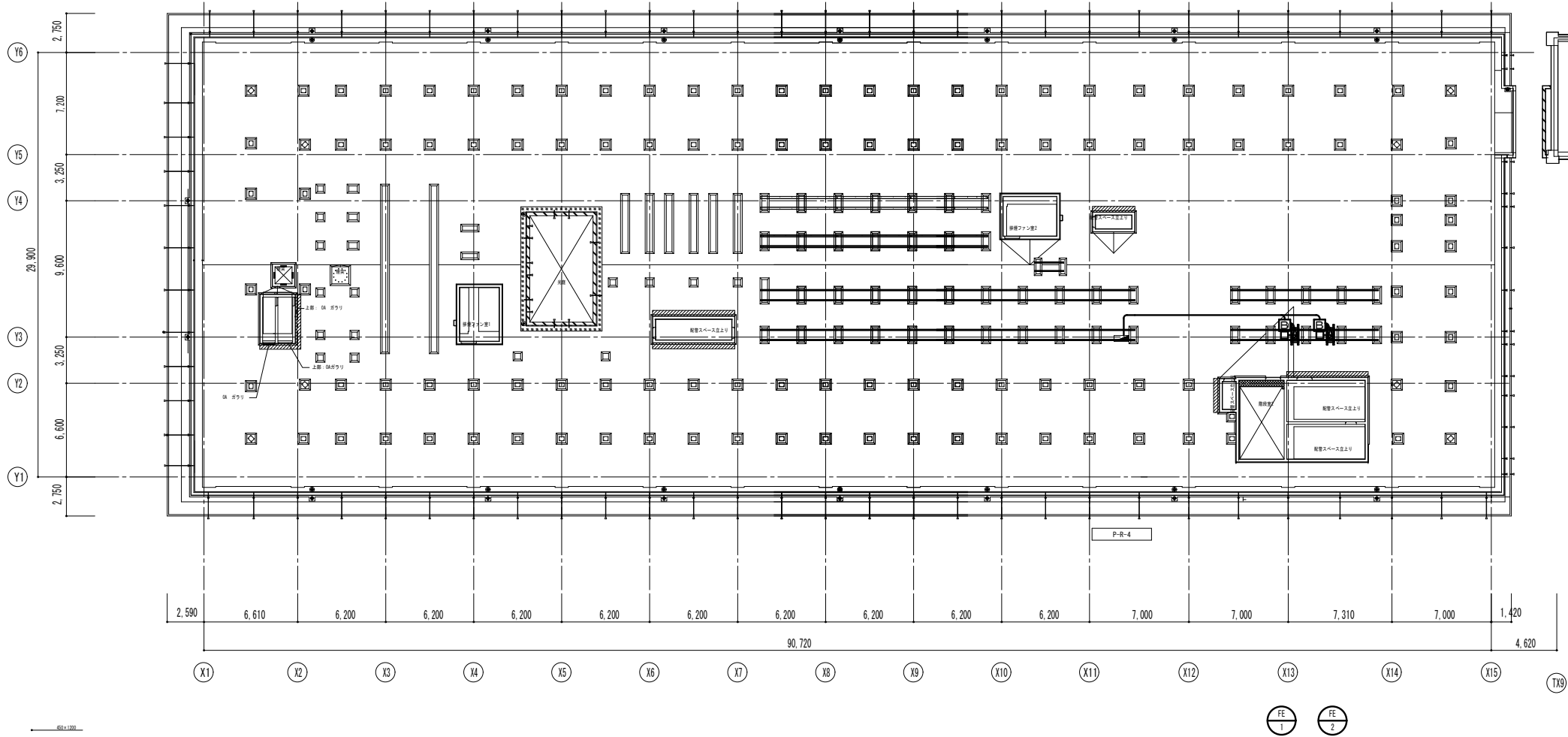
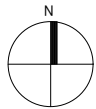
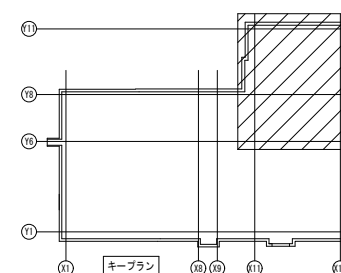
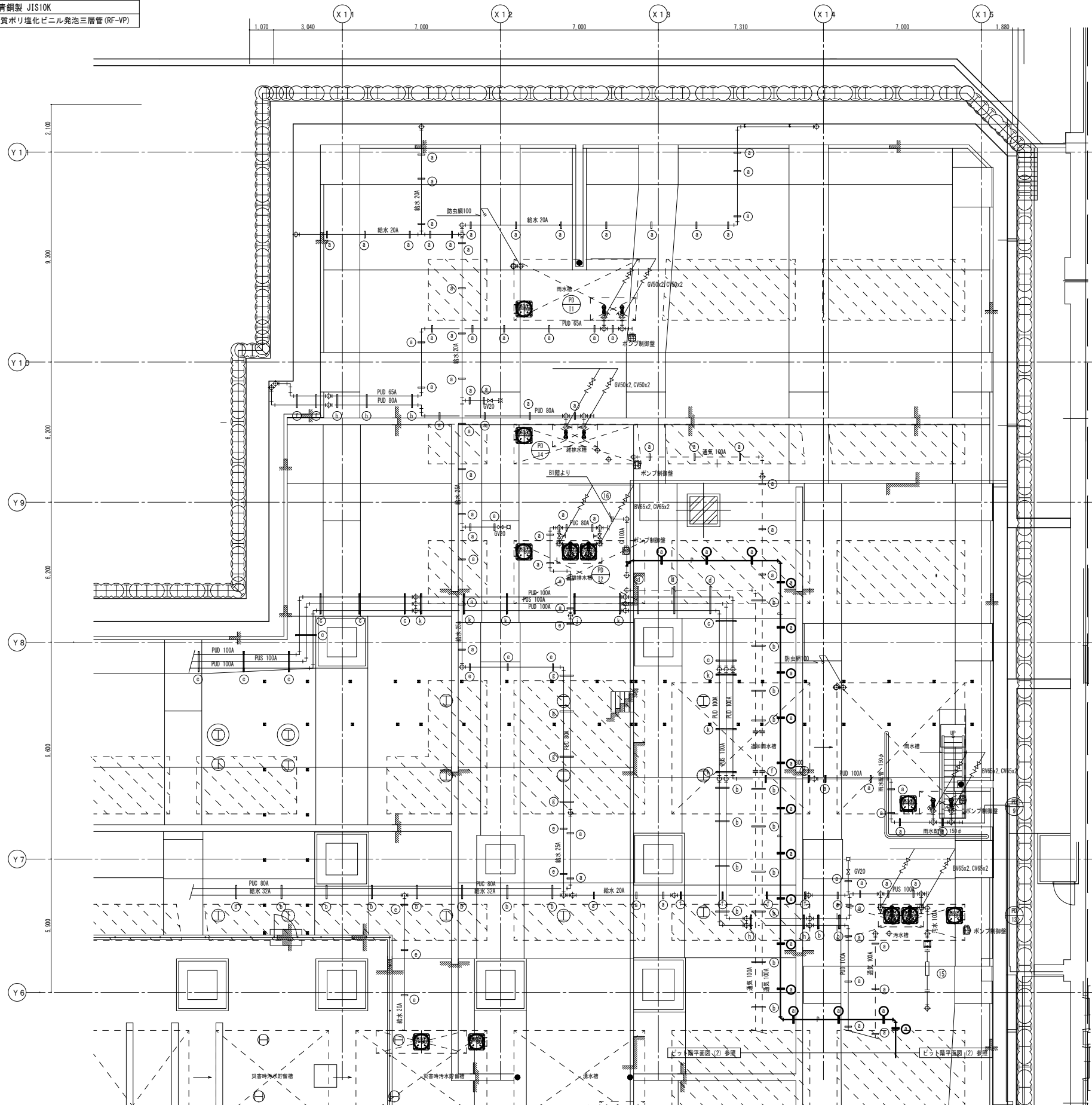


Table titled '既設動力制御盤' (Existing Power Control Panel). It lists equipment details including name, model, main switch, circuit, load name, capacity, and other technical specifications for various pumps and motors.

既設動力盤の改造及びFE-1、FE-2への配線は本工事に含む

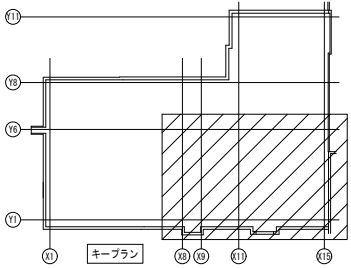
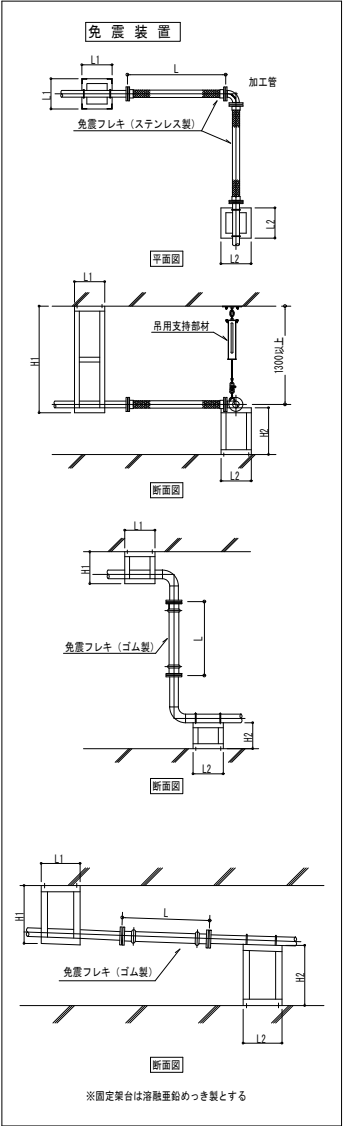
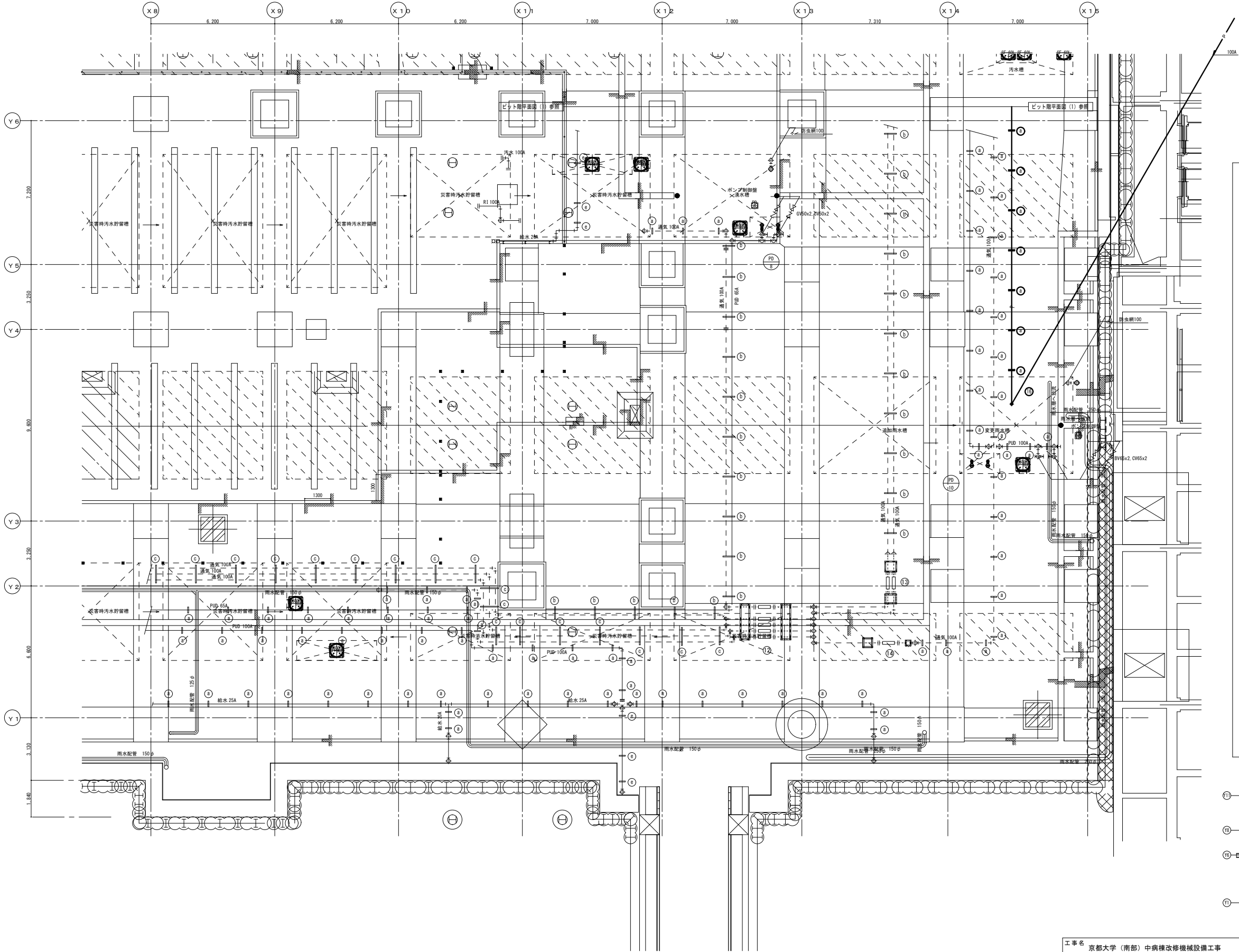
細線は既設、太線は改修を示す



凡例	記号	名称	備考
	—P—	実験排水	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)
	— - —	上水	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
	⊠	弁類 (給水)	GV (50以下) 青銅製 JIS10K
	- - - -	通気 (実験排水)	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP)

細線は既設、太線は改修を示す

免震装置										
記号	名 称	材 質	寸 法	免震量 (mm)	個数	天井固定架台寸法 (mm)		床固定架台寸法 (mm)		鋼材種類
						L1	H1	L2	H2	
⑬	排水用	フッ素樹脂製	100 A × 1000 L	600	1	300	1800	300	1800	L50×50×6

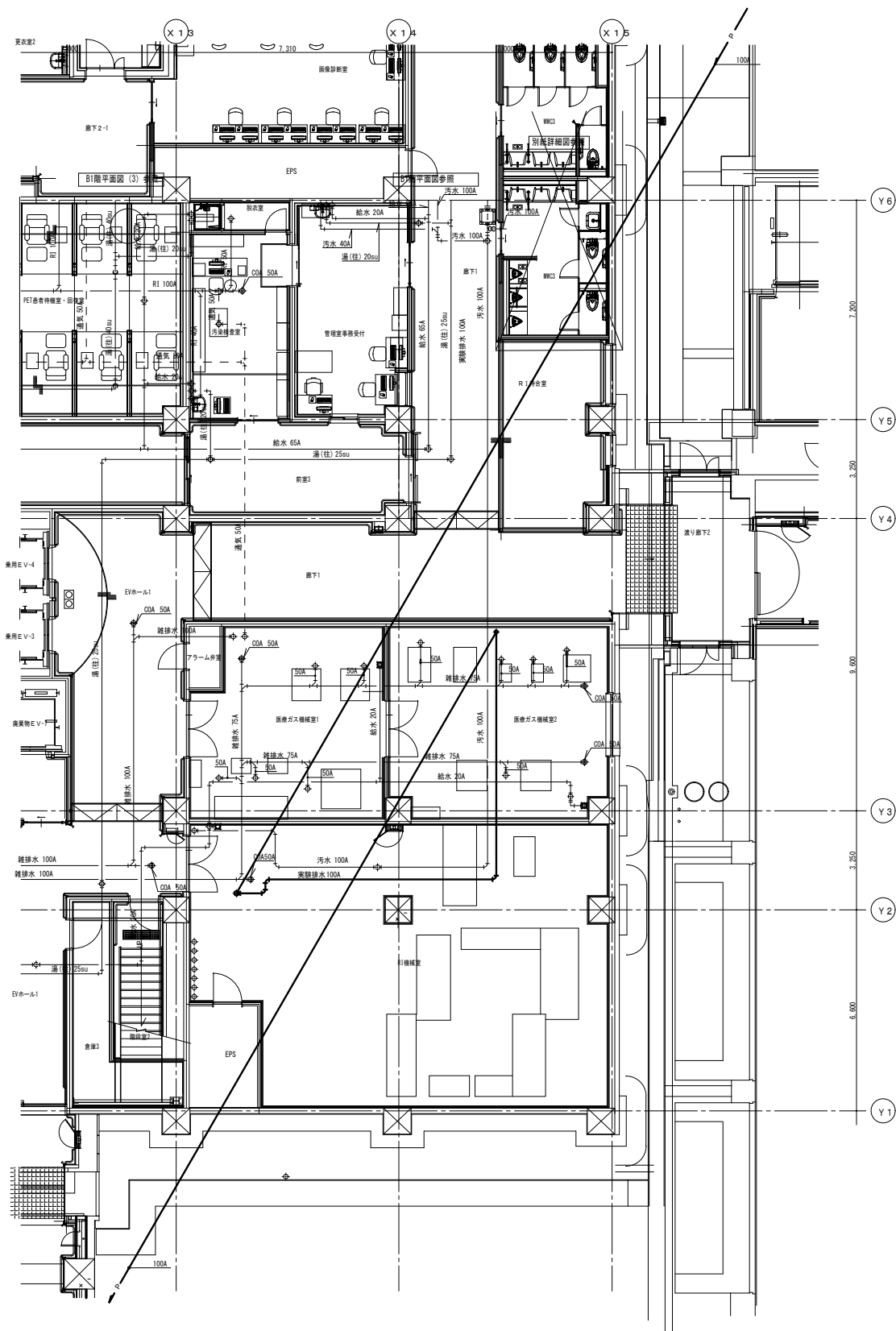


工事名	京都大学（南部）中病棟改修機械設備工事		図面番号
図面名称	給排水衛生設備 ビット階配管図(2) (改修)	縮尺	設計日
		1:100 (A1)	令和6年4月
		1:200 (A2)	

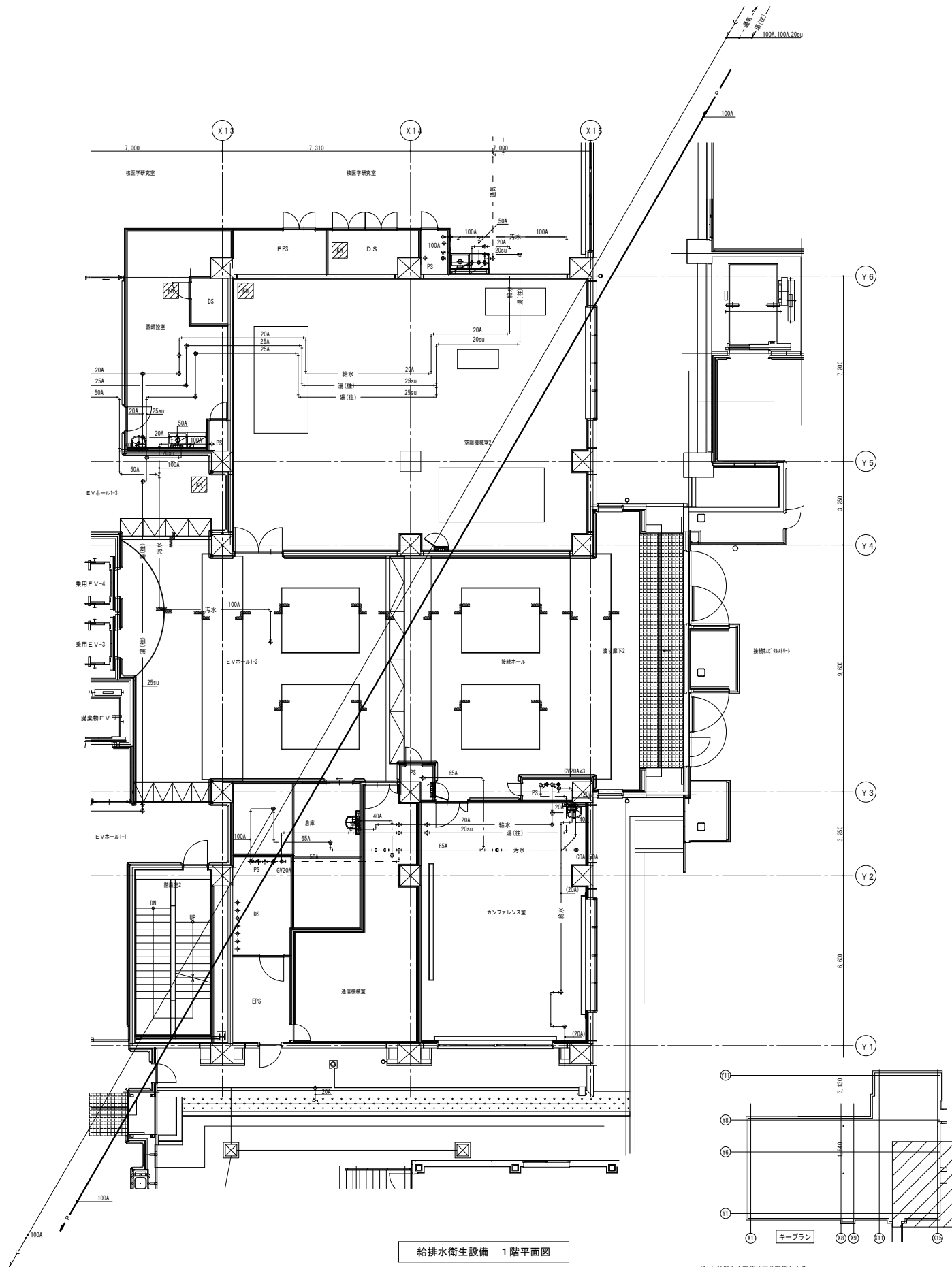


凡例		
記号	名称	備考
P	実験排水	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)

細線は既設、太線は改修を示す



給排水衛生設備 地階平面図



給排水衛生設備 1階平面図

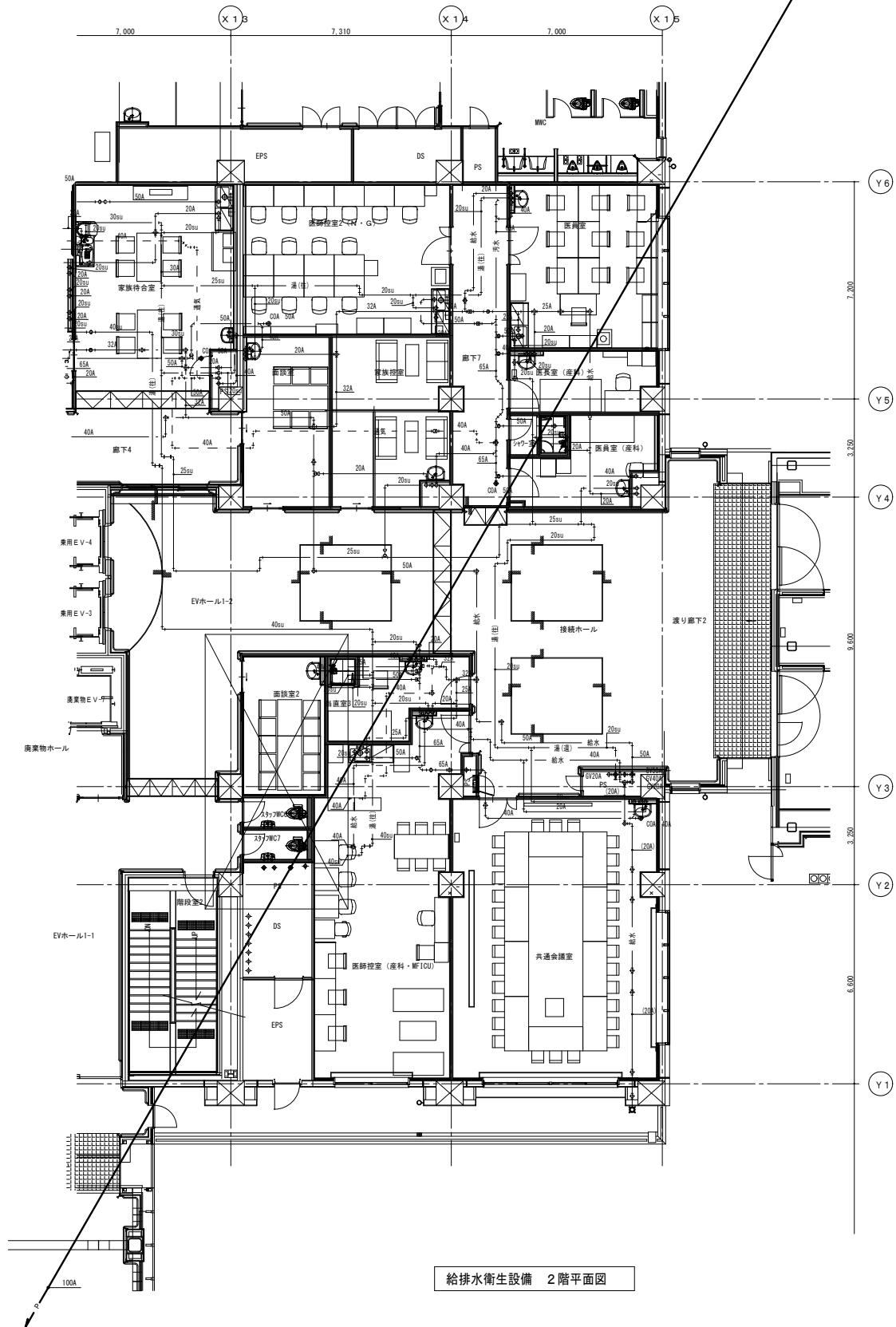
注: 1 特記なき配管は天井配管とする。

工事名 京都大学（南部）中病棟改修機械設備工事			図面番号 <div>15</div>
図面名称 給排水衛生設備 地階・1階配管図（改修）	縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	設計日 令和6年4月	

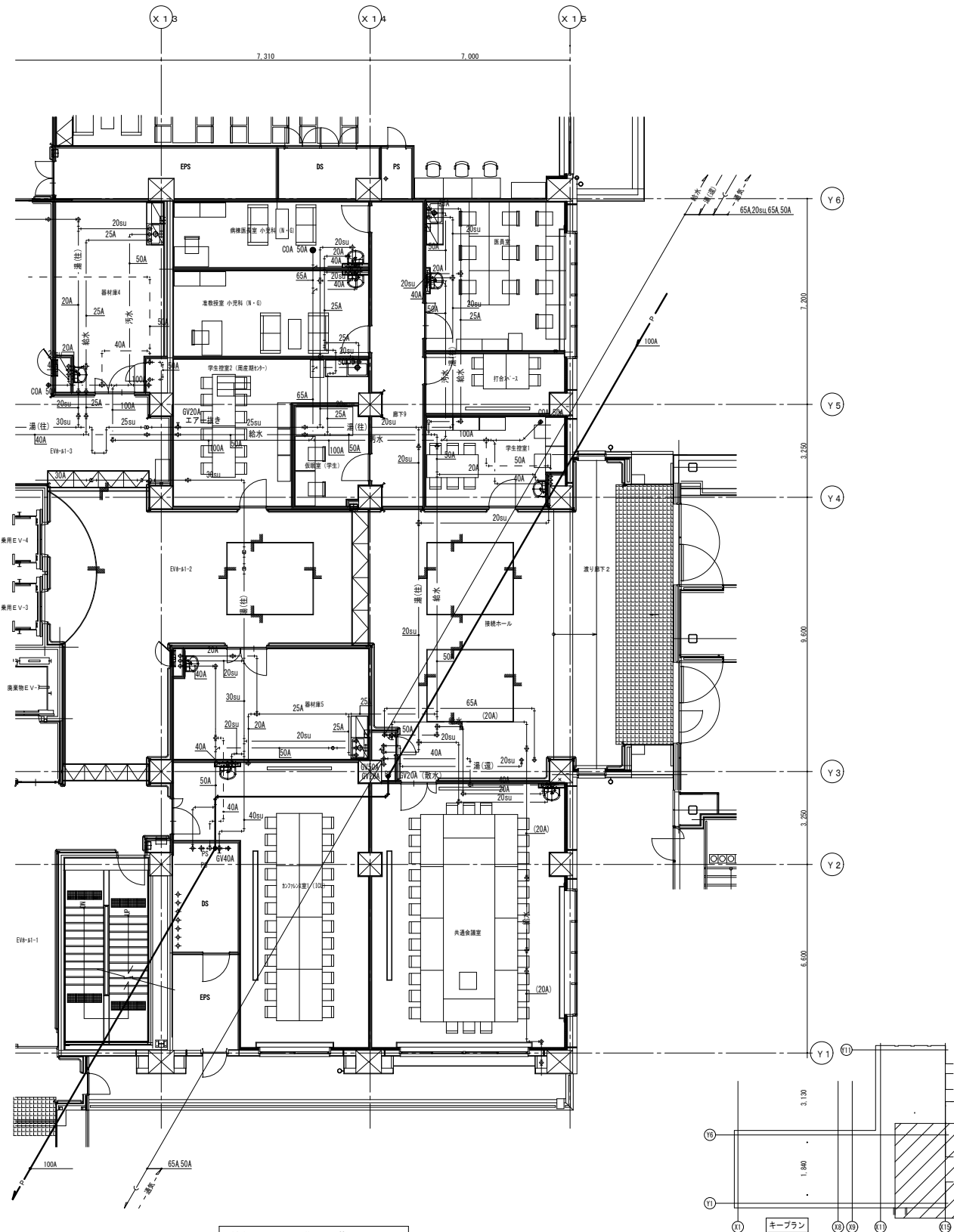


凡例		
記号	名称	備考
—P—	実験排水	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)

細線は既設、太線は改修を示す



給排水衛生設備 2 階平面図



給排水衛生設備 3 階平面図

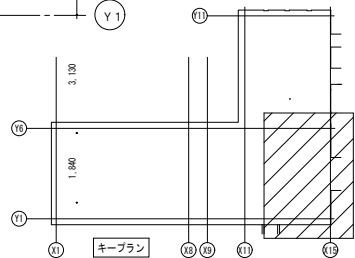
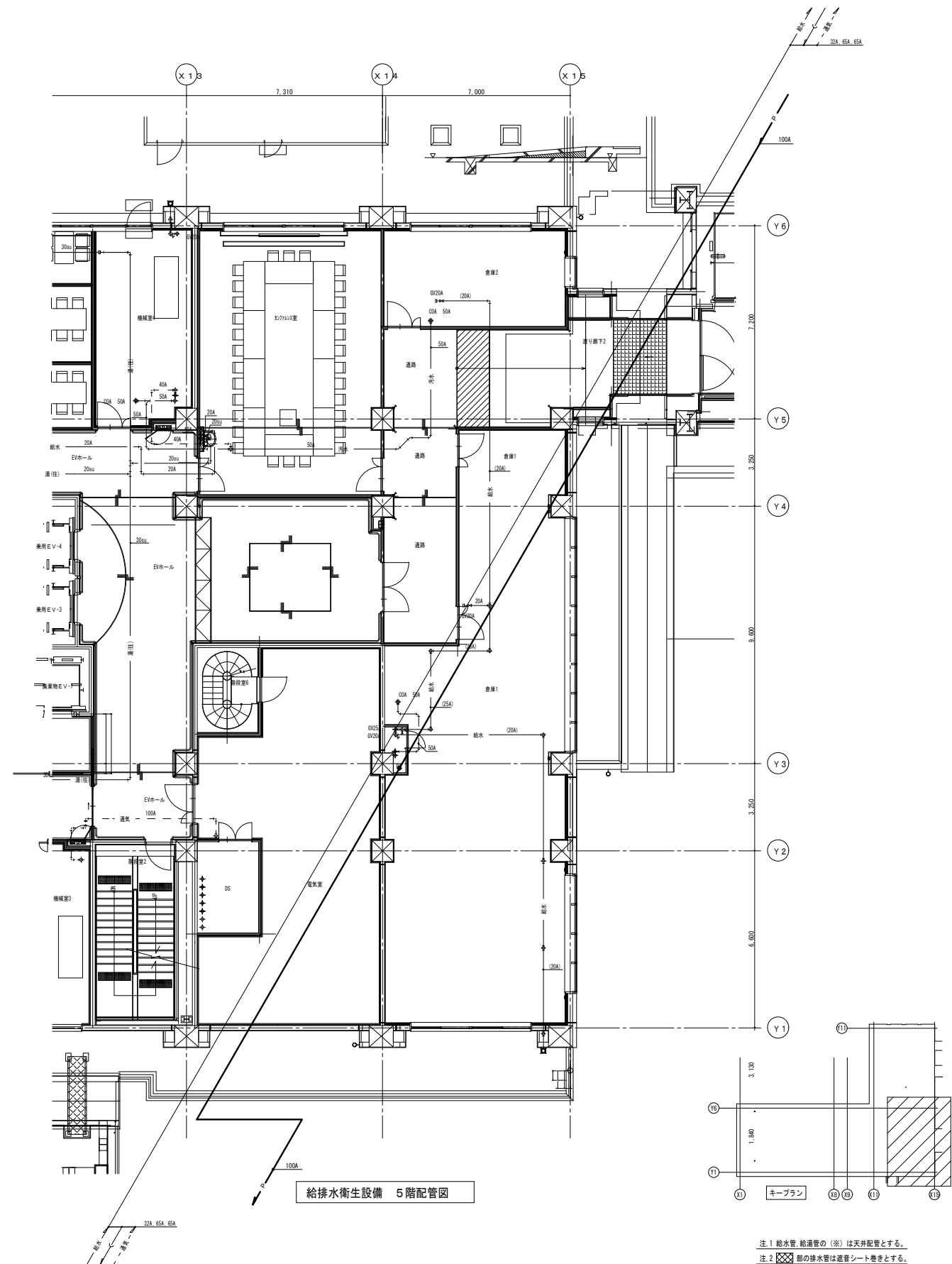
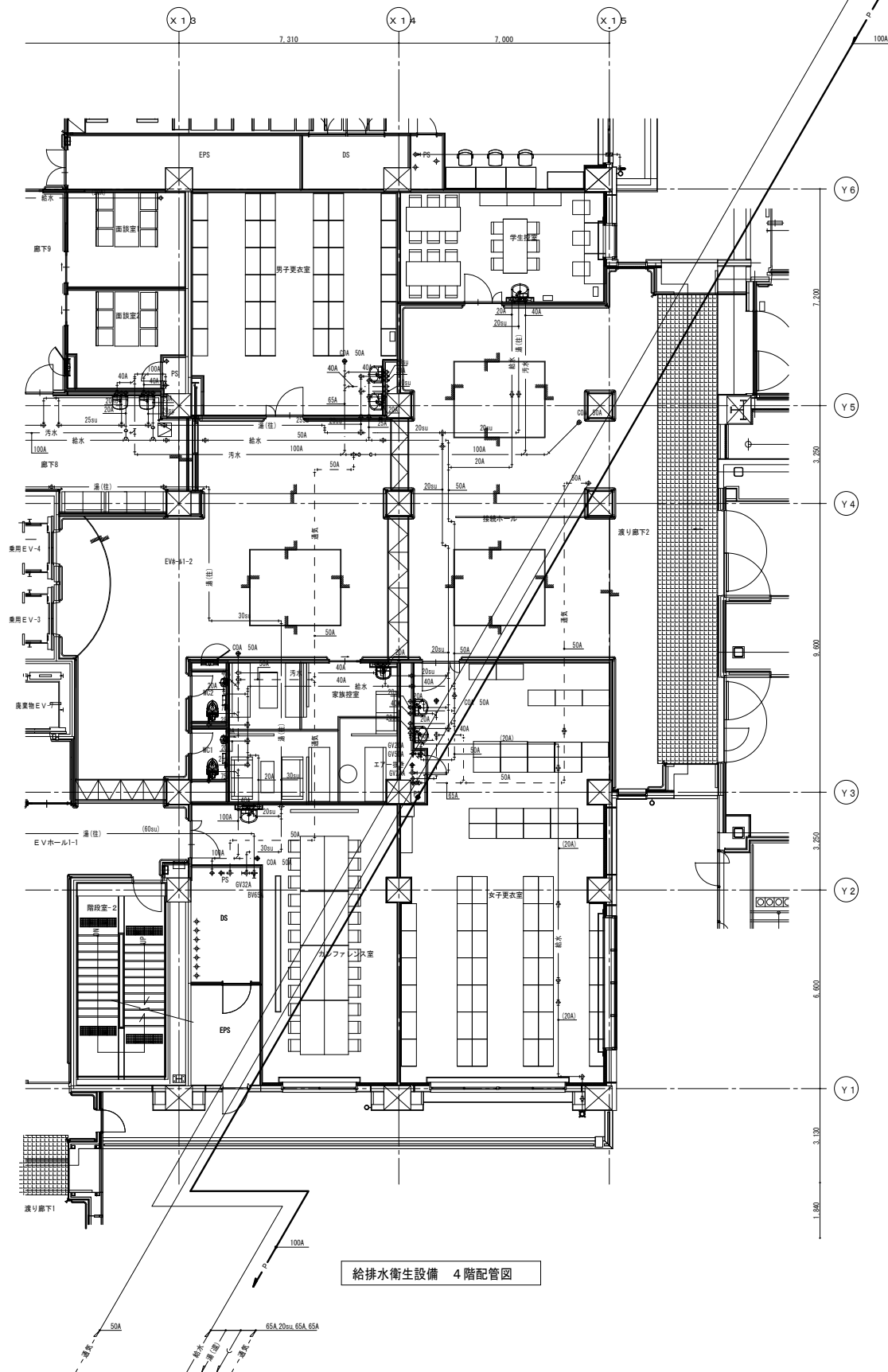
注 1 特記なき配管は天井配管とする。
注 2 部の排水管は遮音シート巻きとする。

工事名 京都大学（南部）中病棟改修機械設備工事			図面番号 <div>16</div>
図面名称 給排水衛生設備 2階・3階配管図（改修）	縮尺 1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)	設計日 令和6年4月	



凡例		
記号	名称	備考
—P—	実験排水	水通信用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)

細線は既設、太線は改修を示す

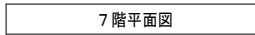


注 1 給水管、給湯管の (※) は天井配管とする。
注 2 部の排水管は通音シート巻きとする。

工事名 京都大学（南部）中病棟改修機械設備工事			図面番号
図面名称 給排水衛生設備 4階・5階配管図（改修）	縮尺	設計日	17
	1:100 (A1) 1:200 (A3)	令和 6 年 4 月	



細線は既設、太線は改修を示す

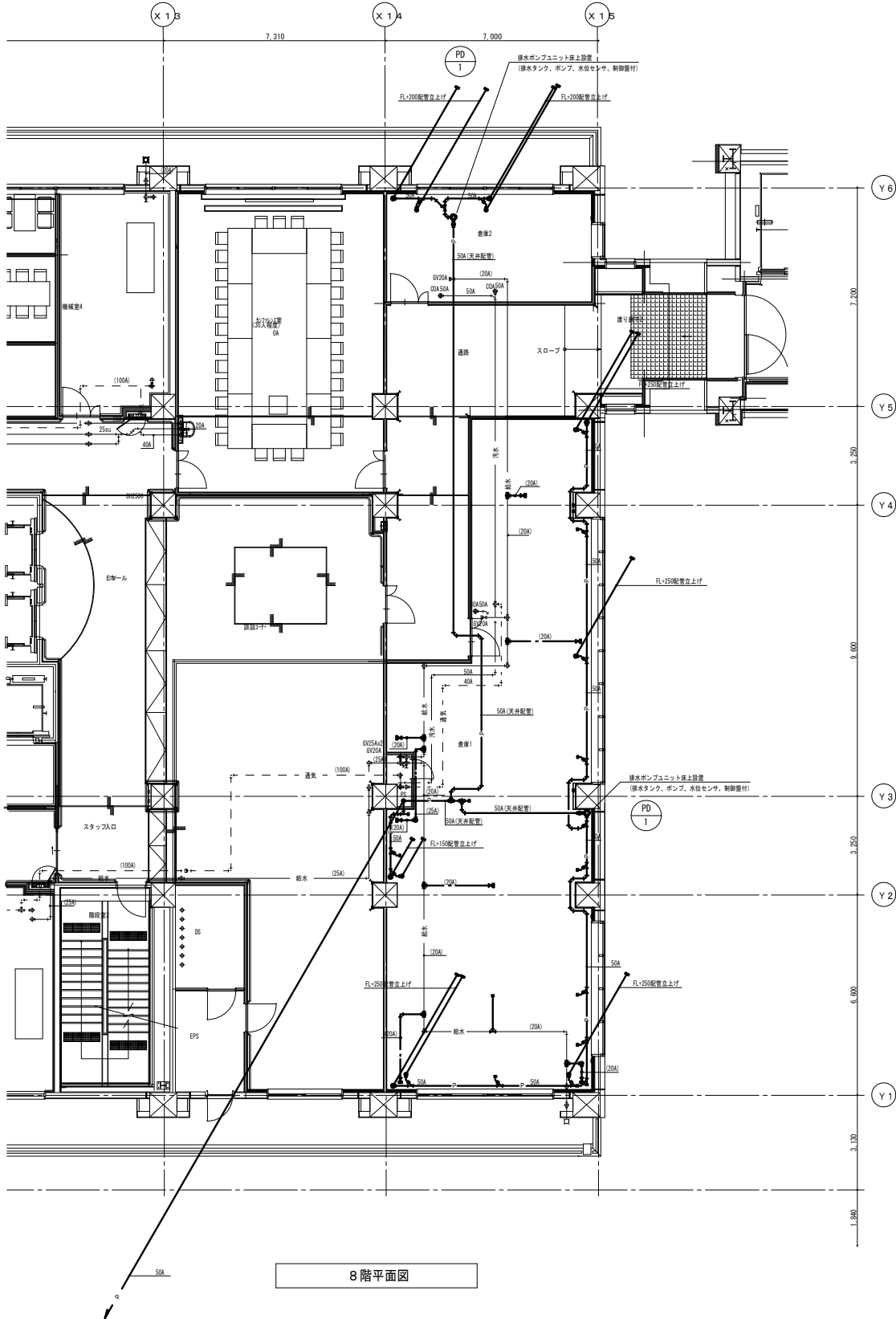


工事名 京都大学（南部）中病棟改修機械設備工事		図面番号
図面名称	縮尺	設計日
給排水衛生設備 6 階・7 階配管図（改修）	1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)	令和 6 年 4 月



機器表					
記号	機器名称	機器仕様	電源	台数	備考
PD-1	実験排水ポンプユニット	形式 排水ポンプユニット (水位センサ自動排水) 能力 流量 20 L/min 揚程 5 m 付属品 排水タンク、水位センサ、その他附属品一式	1φ-100V 0.5kW	1	参考型番 KPD-40SS

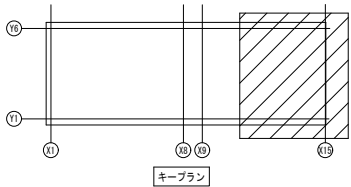
機器電気容量は参考とする。(80%)



8階平面図

凡例		
記号	名称	備考
— P —	実験排水	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)
— - -	上水	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
⊠	弁類 (給水)	GV (50以下) 青銅製 JIS10K
- - - ⊠ - - -	通気 (実験排水)	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP)

細線は既設、太線は改修を示す



注記
注.1 太線部は改修範囲、細線部は既設範囲を示す。
注.2 特記なき給水配管は天井配管とする。
注.3 特記なき排水配管は床ところがし配管とする。
注.4 排水器具ごとに通気弁を設けるものとする。
(8階40A×13箇所)

工事名 京都大学 (南部) 中病棟改修機械設備工事			図面番号	
図面名称 給排水衛生設備 8 階配管図 (改修)	縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	設計日 令和 6 年 4 月	19	